

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-C-13-0001_改5
提出年月日	2021年9月1日

工事計画に係る説明資料

浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備

(図面類)

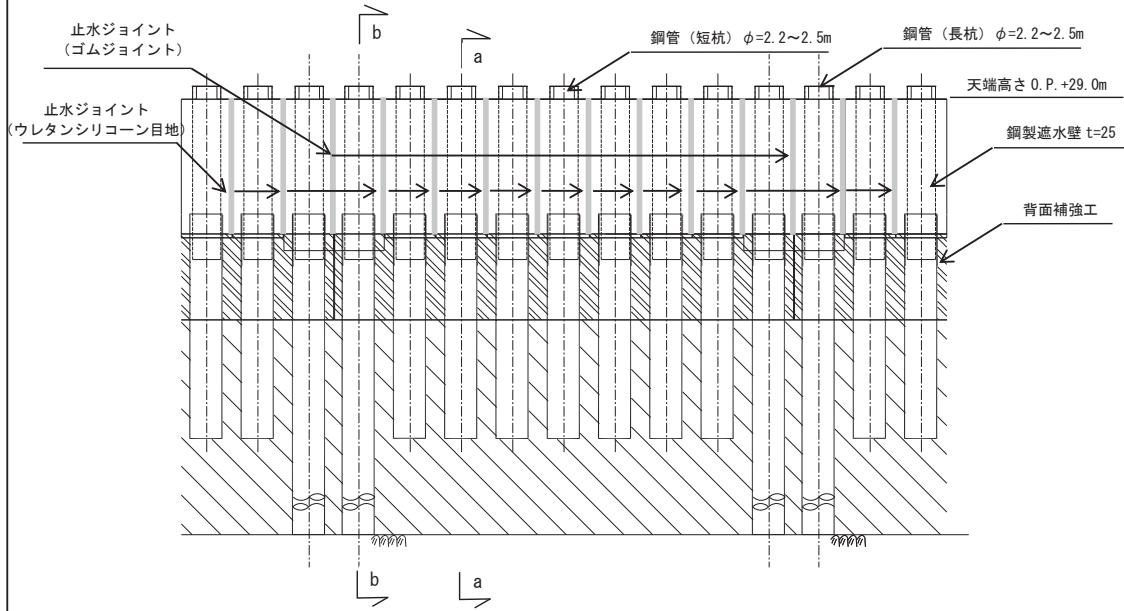
2021年9月

東北電力株式会社

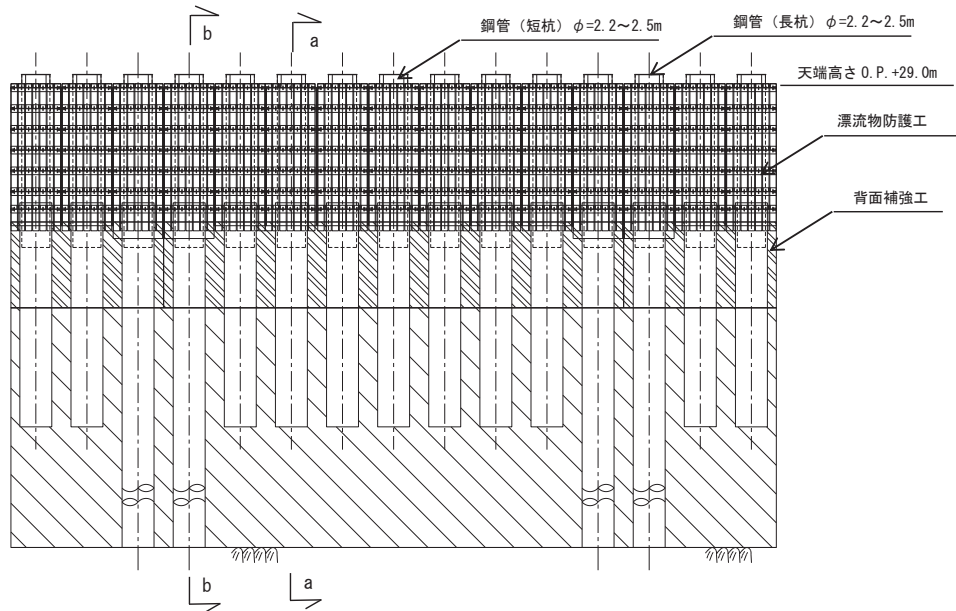
9. 4. 1 外郭浸水防護設備

鋼管式鉛直壁構造図

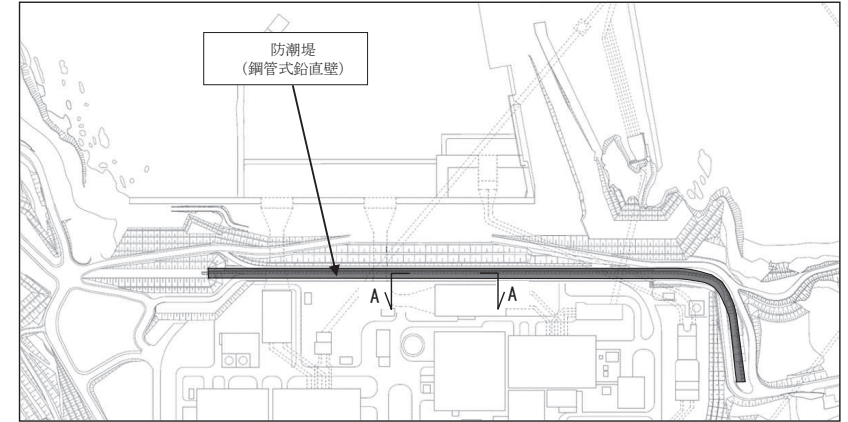
正面図(A-A断面, 鋼製遮水壁)



正面図(A-A断面, 漂流物防護工)

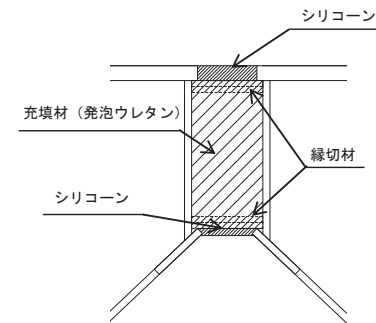


KEY-PLAN



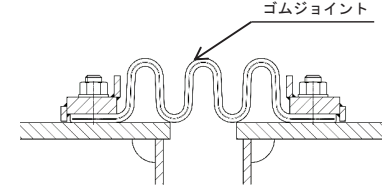
止水ジョイント詳細図

(ウレタンシリコン目地)



止水ジョイント詳細図

ゴムジョイント

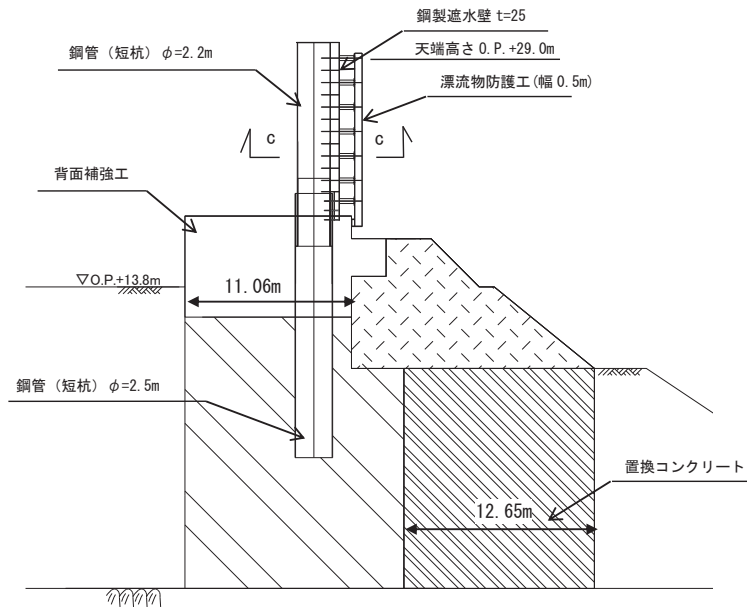


- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

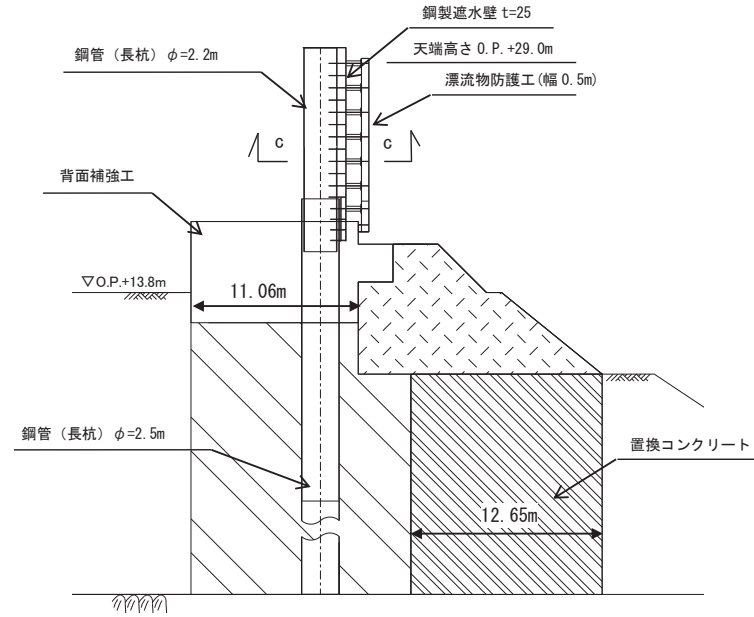
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-1 図
名	防潮堤 (鋼管式鉛直壁)
称	構造図 (1/4)
東北電力株式会社	

鋼管式鉛直壁構造図

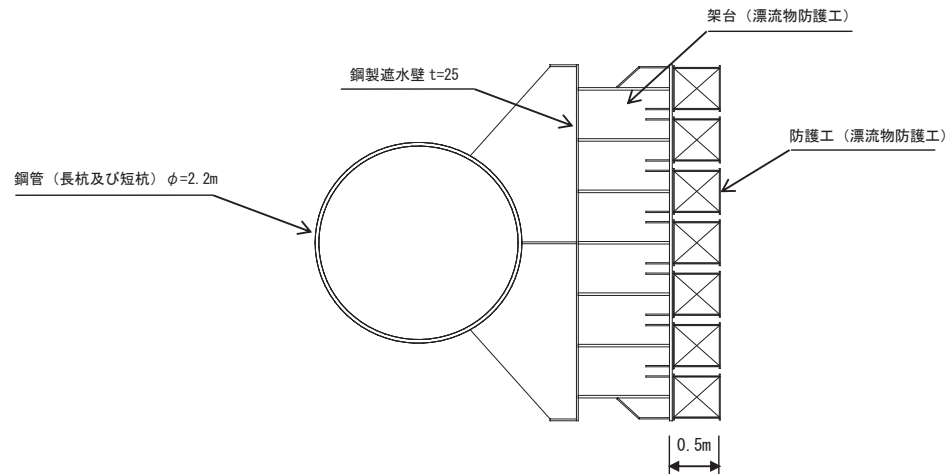
側面図（短杭部）（a-a 断面）



側面図（長杭部）（b-b 断面）



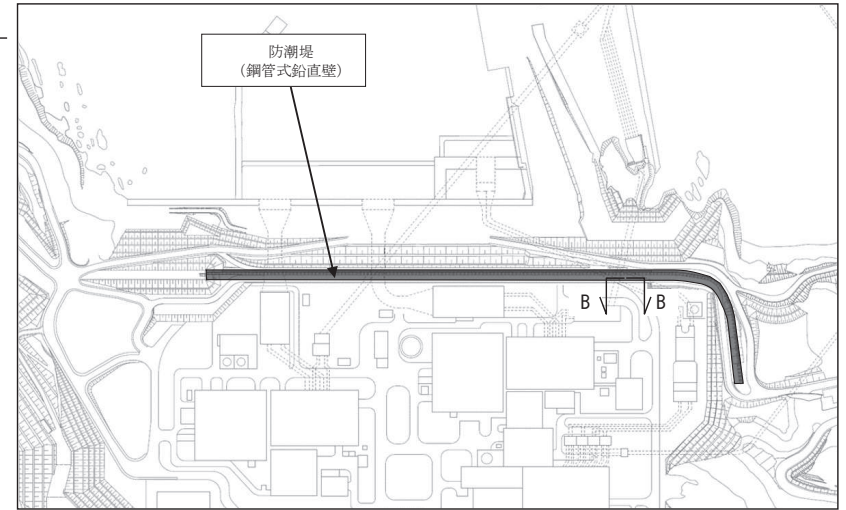
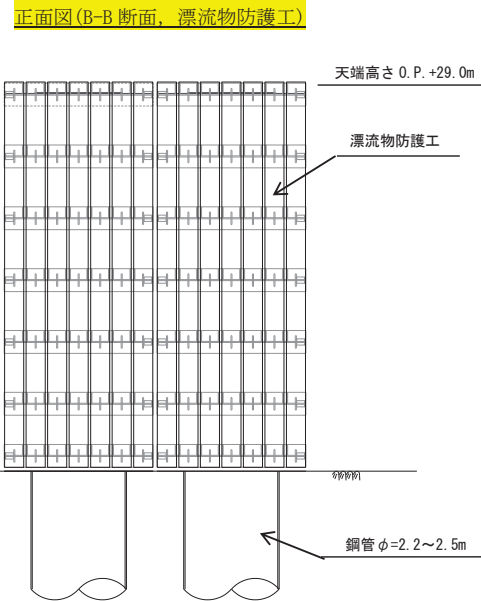
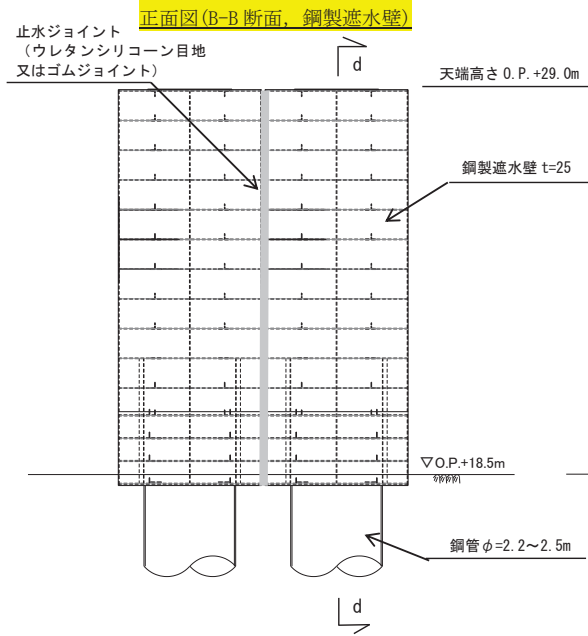
断面図（c-c 断面）



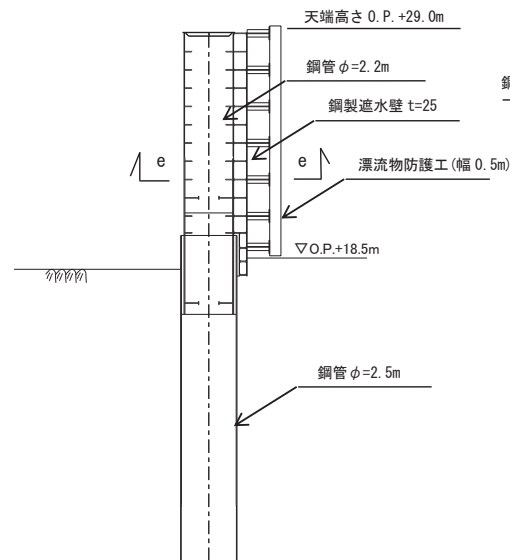
- *1：特記なき寸法は mm を示す。
- *2：特記なき寸法は公称値を示す。
- *3：平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-2 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮堤（鋼管式鉛直壁） 構造図（2/4）
東北電力株式会社	

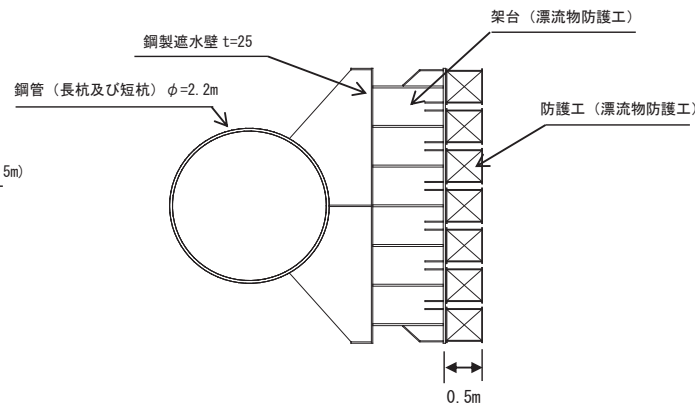
鋼管式鉛直壁構造図



断面図 (d-d 断面)

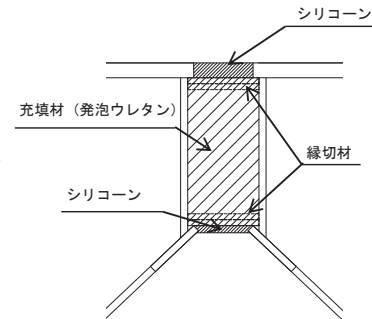


断面図 (e-e 断面)



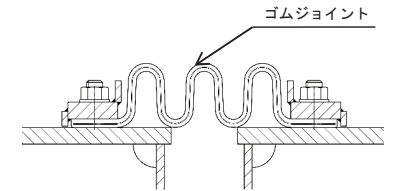
止水ジョイント詳細図

(ウレタンシリコン目地)



止水ジョイント詳細図

ゴムジョイント

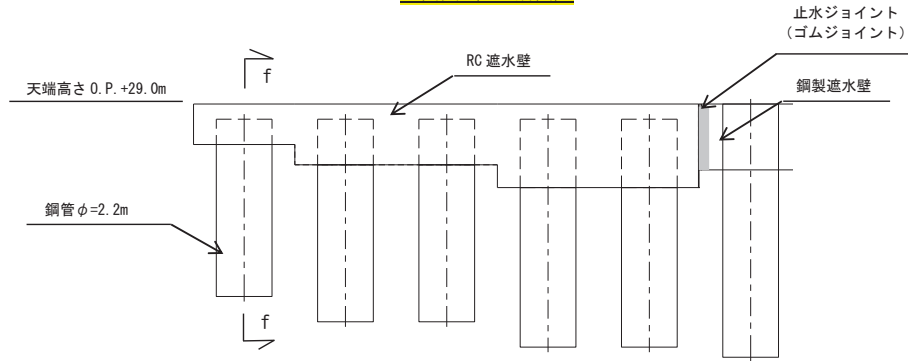


- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

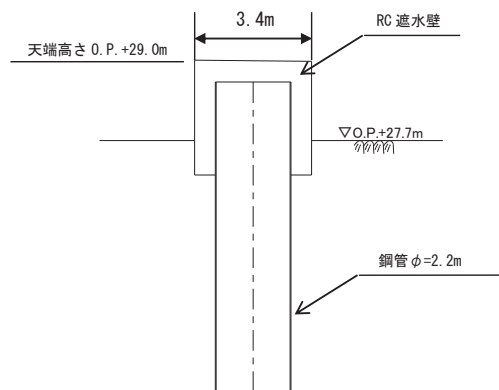
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-3 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮堤 (鋼管式鉛直壁) 構造図 (3/4)
東北電力株式会社	

鋼管式鉛直壁構造図

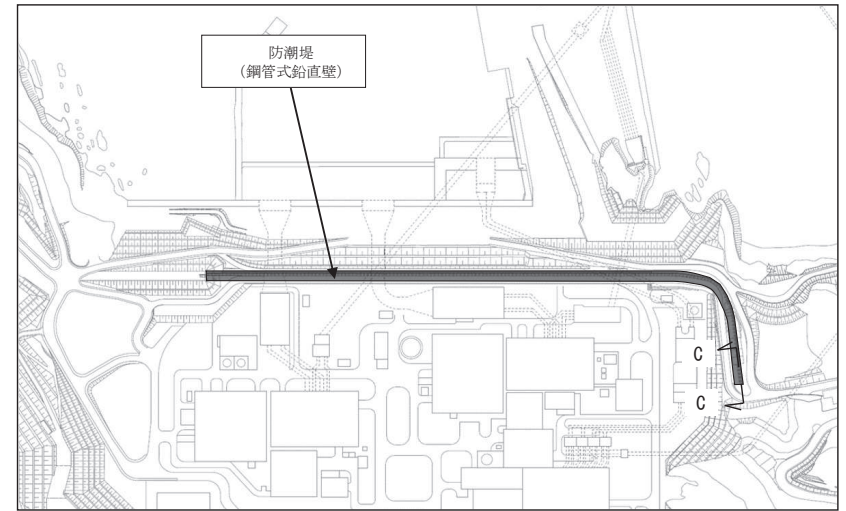
正面図 (C-C 断面)



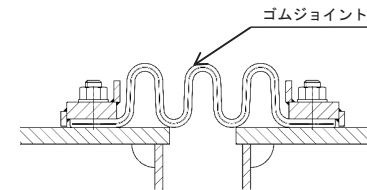
断面図 (f-f 断面)



KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図
ゴムジョイント



*: 特記なき寸法は公称値を示す。

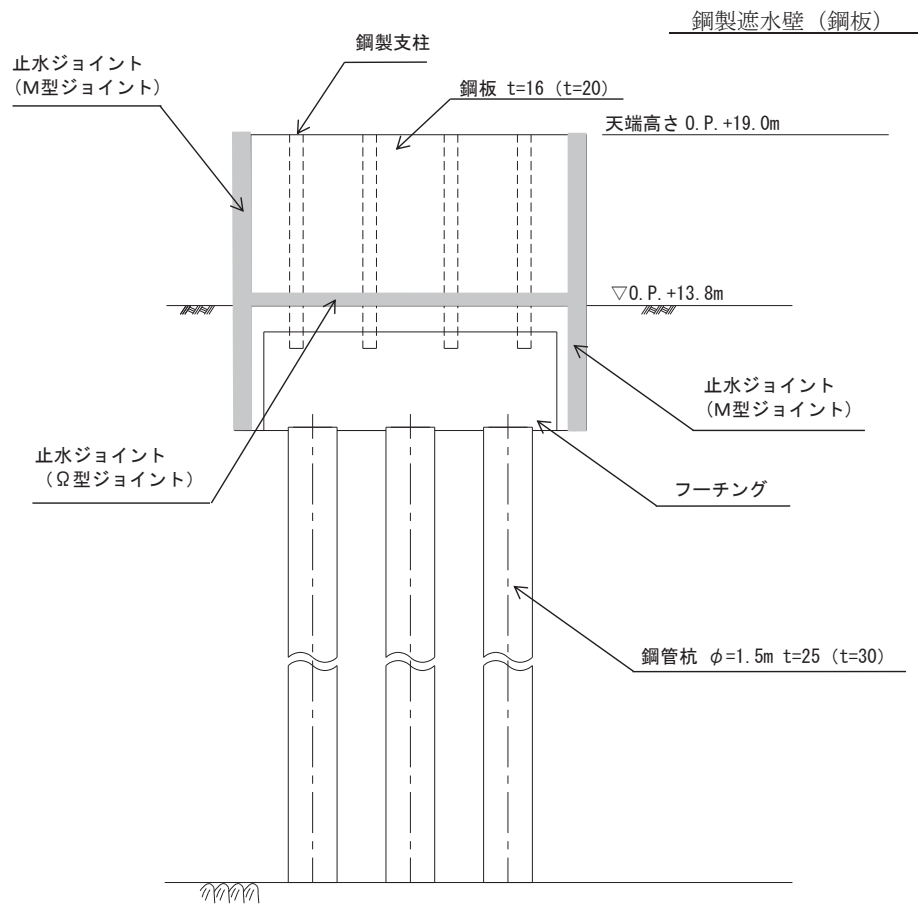
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-4 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮堤 (鋼管式鉛直壁) 構造図 (4/4)
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-1～第 9-4-1-1-4 図 防潮堤（鋼管式鉛直壁）構造図 別紙

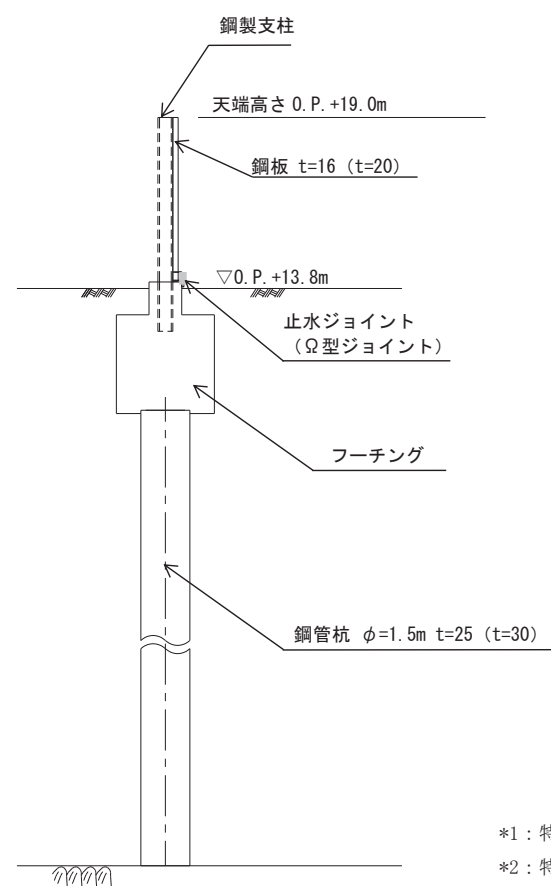
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
天端高さ	0. P. +29. 0m	+ 規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による管理基準
鋼製遮水壁	スキンプレート厚さ 25. 0mm	±1mm	『JIS G 3193』，日本規格協会
鋼 管	厚 さ 25mm 35mm 40mm	+ 規定しない 0mm	『JIS A 5525』，日本規格協会
	直 径 2. 2m 2. 5m	φ 2. 2m : ±11mm φ 2. 5m : ±12. 5mm	同上
背面補強工	幅 11. 06m	+ 規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による管理基準
置 換 コンクリート	幅 12. 65m	+ 規定しない 0mm	同上
RC 遮水壁	幅 3. 4m	+ 規定しない -30mm	同上
漂流物防護工	幅 0. 5m	±2mm	道路橋示方書 H24 年版
	厚 さ 9～22mm	±0. 9～±1. 1mm	『JIS G 3193』，日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

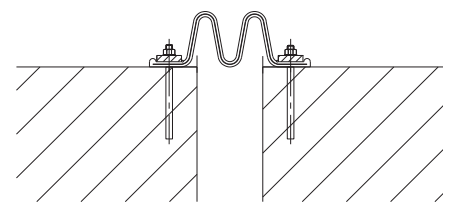
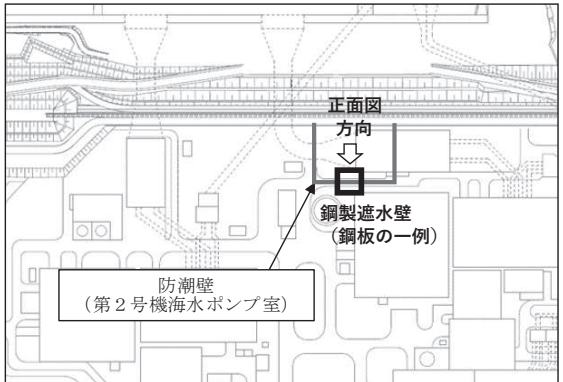


正面図

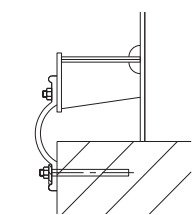


断面図

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図 (M型ジョイント)

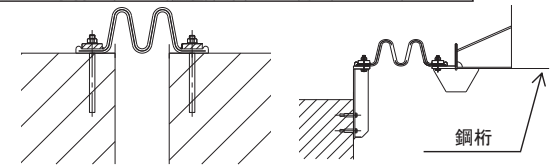
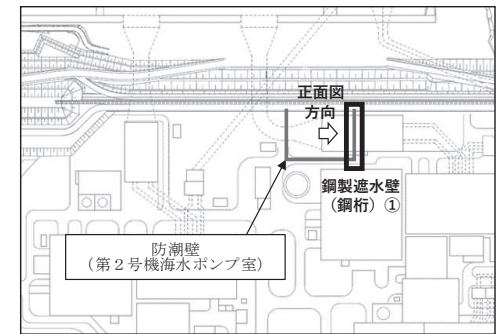


止水ジョイント詳細図 (Ω型ジョイント)

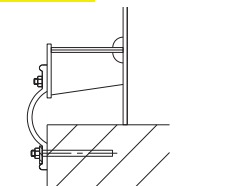
- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 寸法が複数ある場合には () にて示す。
- *4: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 止水ジョイント (M型ジョイント及びΩ型ジョイント) の交差部は金型にて製作する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-6 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機海水ポンプ室) 構造図 (1/5)
東北電力株式会社	

KEY-PLAN

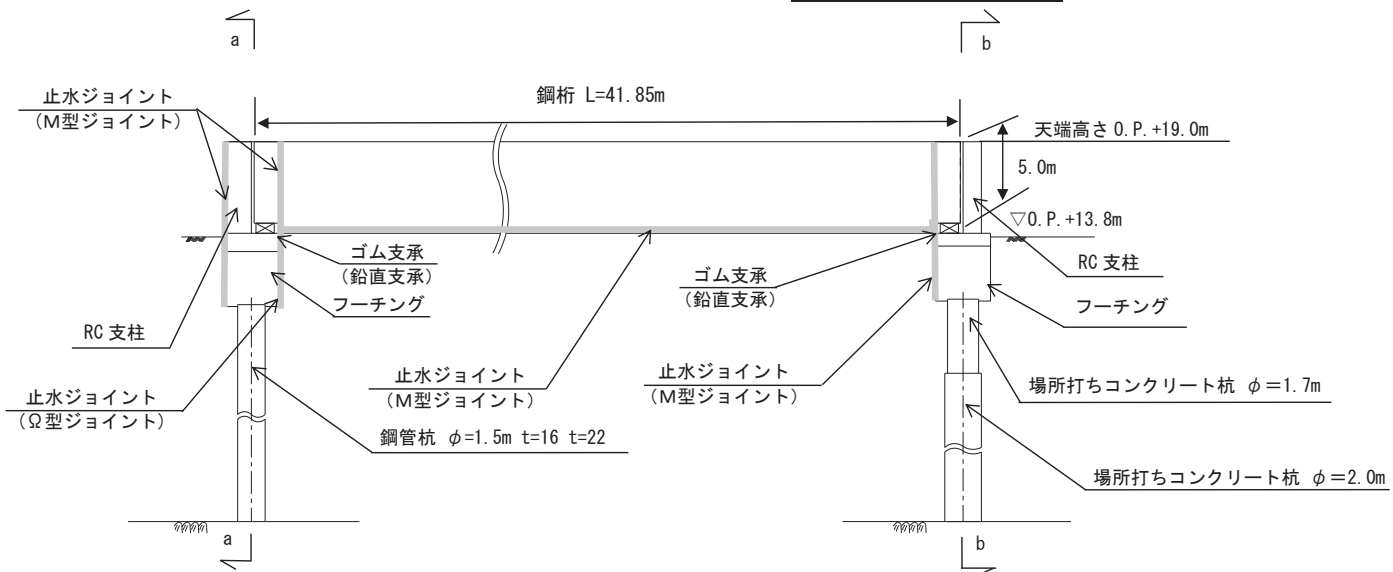


止水ジョイント詳細図 (M型ジョイント)

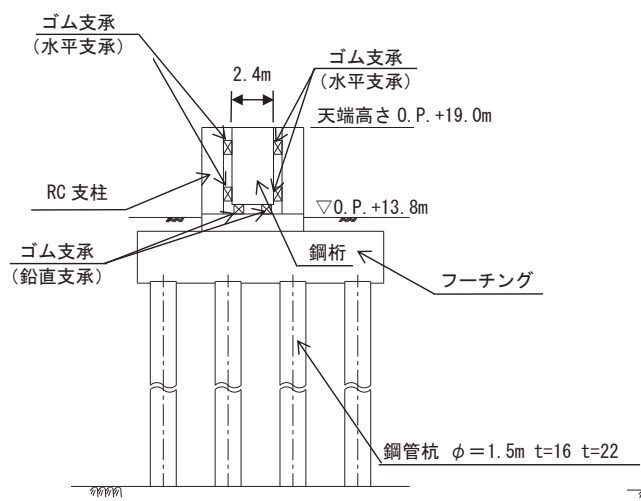


止水ジョイント詳細図 (Ω型ジョイント)

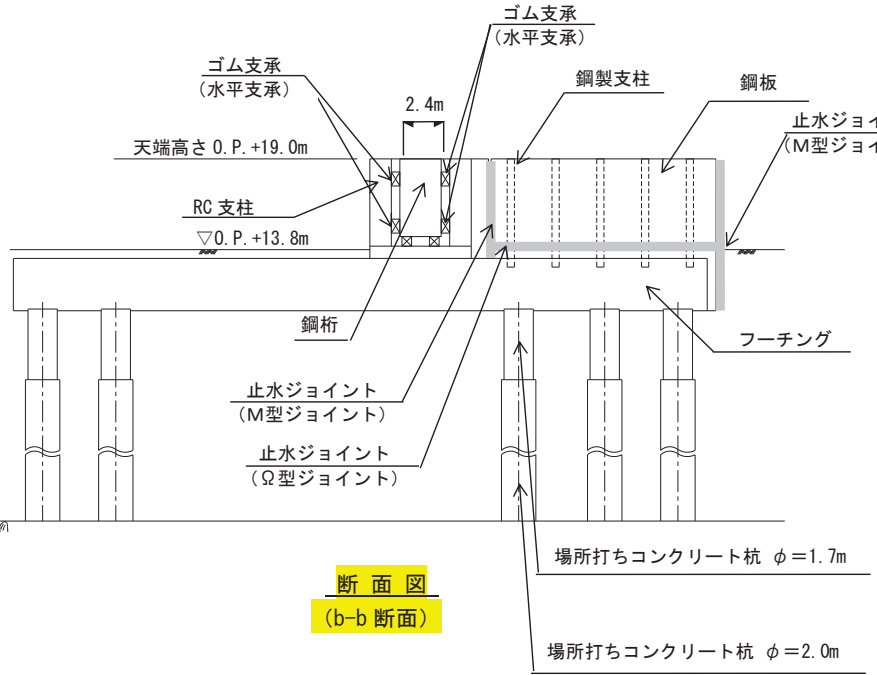
鋼製遮水壁 (鋼桁) ①



正面図



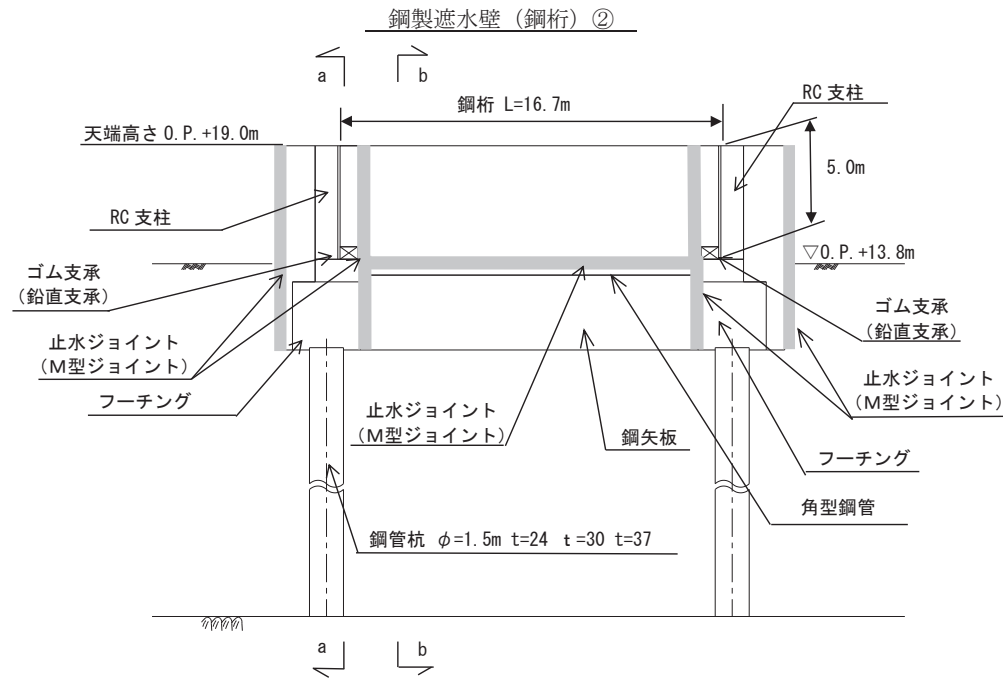
断面図 (a-a 断面)



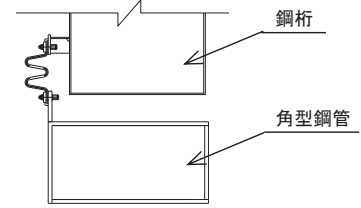
断面図 (b-b 断面)

- *1: 特記なき寸法はmmを示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 止水ジョイント (M型ジョイント及びΩ型ジョイント) の交差部は金型にて製作する。
- *5: 鋼桁を構成する鋼梁と鋼梁の継目には止水シール材を設置する。

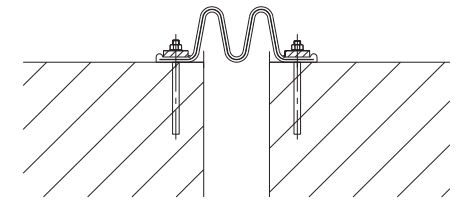
工事計画認可申請	第9-4-1-1-7 図
女川原子力発電所 第2号機	
防潮壁 (第2号機海水ポンプ室) 構造図 (2/5)	
名称	防潮壁 (第2号機海水ポンプ室) 構造図 (2/5)
東北電力株式会社	



正面図

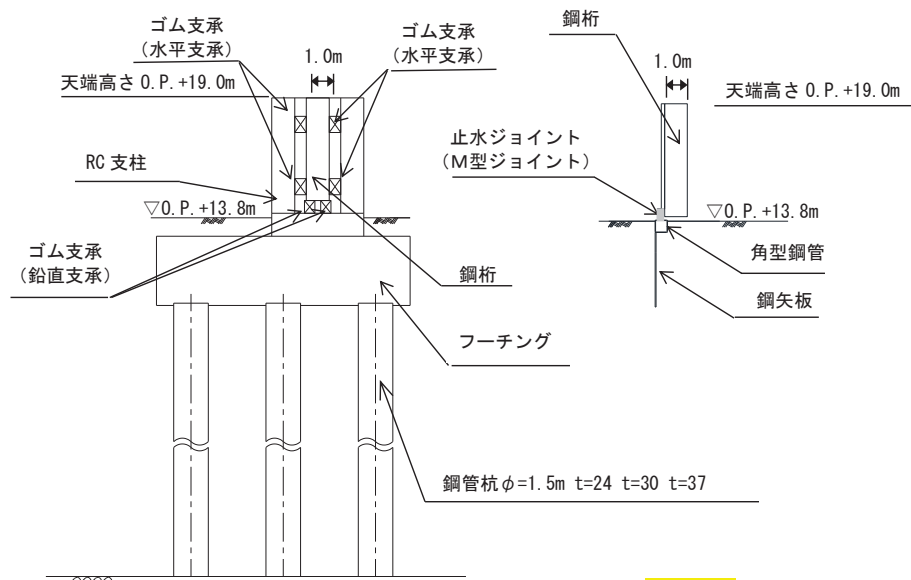
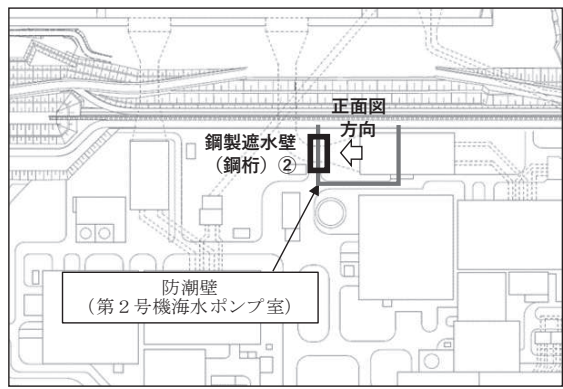


止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)

KEY-PLAN



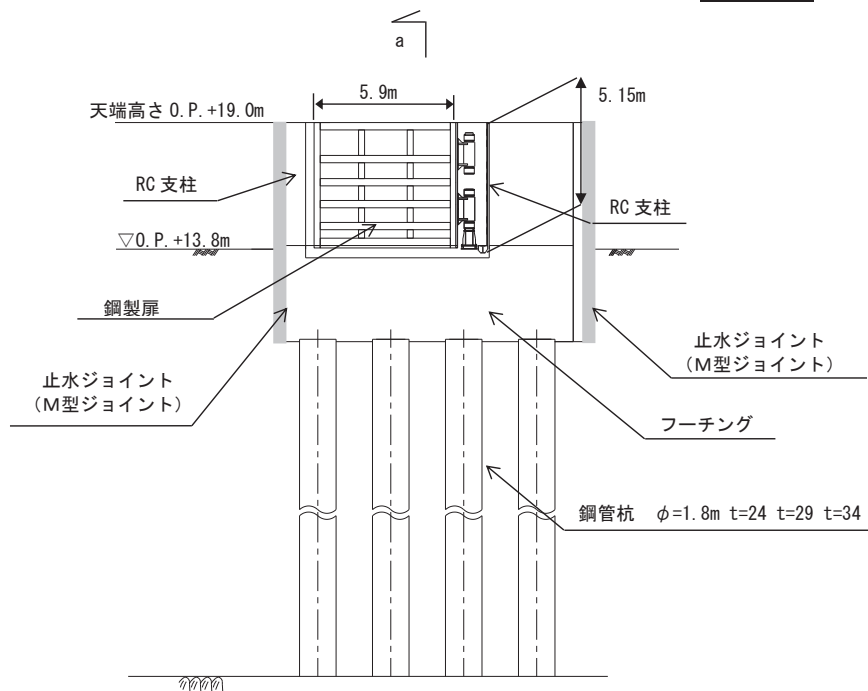
断面図
(a-a 断面)

断面図
(b-b 断面)

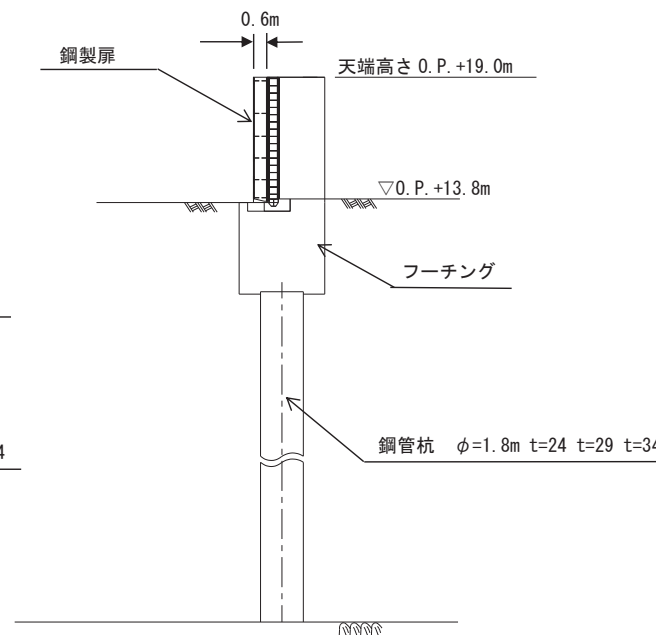
- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 鋼桁を構成する鋼殻と鋼殻の継目には止水シール材を設置する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-8 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機海水ポンプ室) 構造図 (3/5)
東北電力株式会社	

鋼製扉

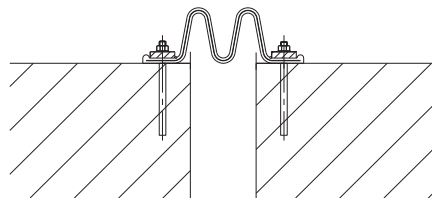
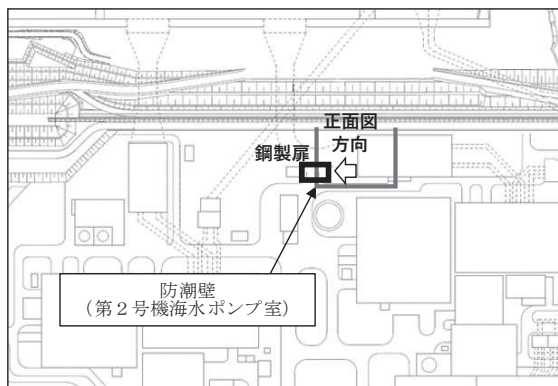


正面図

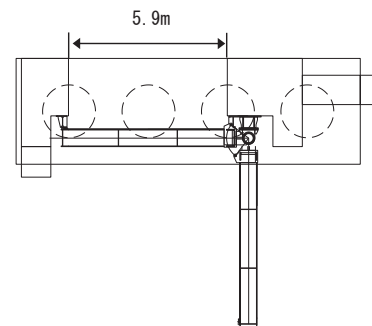


断面図
(a-a断面)

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)

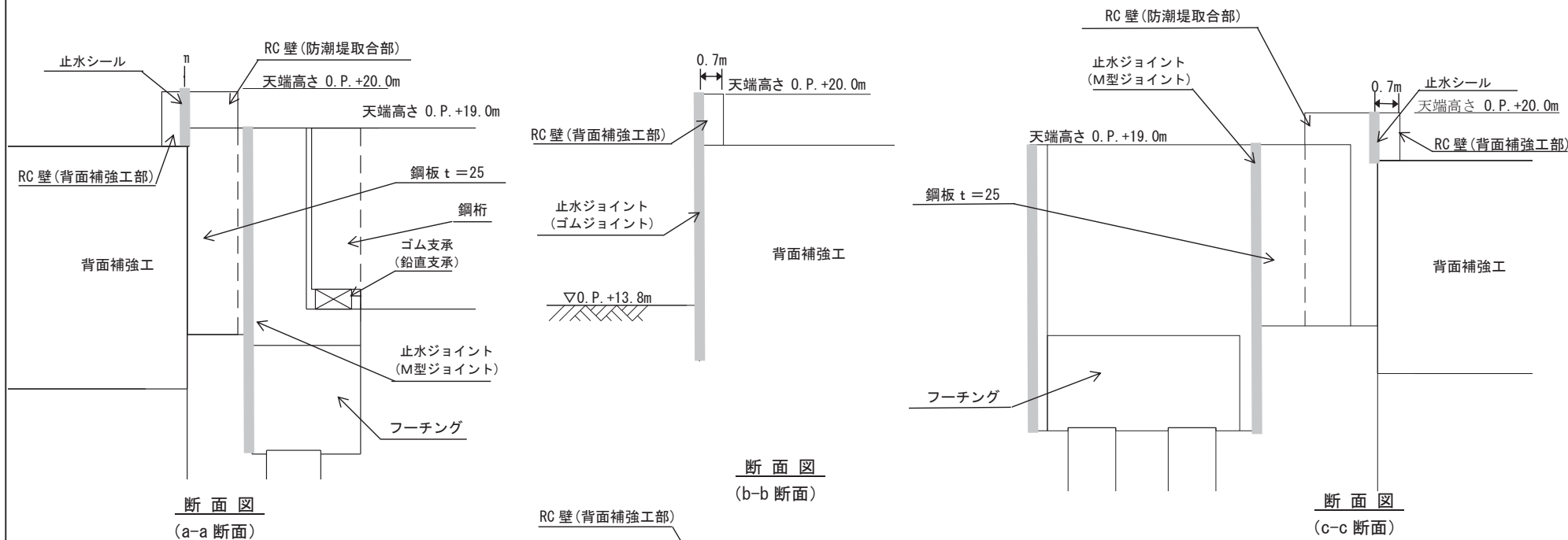


平面図

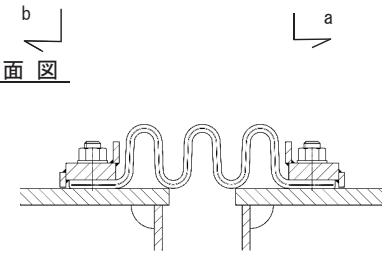
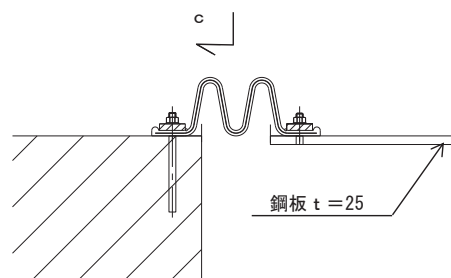
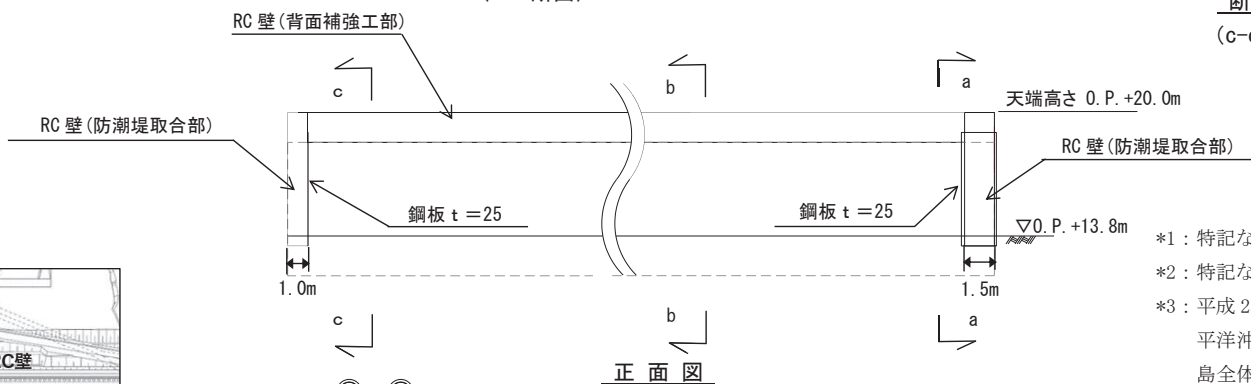
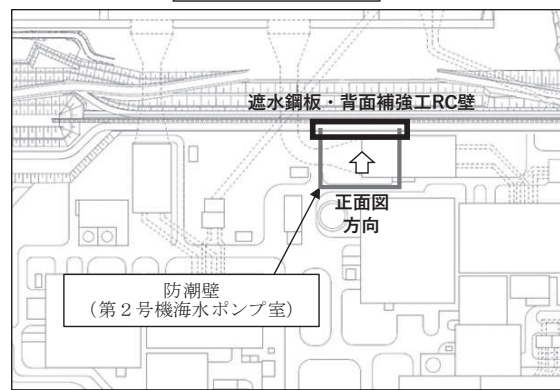
- *1: 特記なき寸法はmmを示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 鋼製扉と戸当り間には止水ゴム (P型ゴム)を設置する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-9 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	防潮壁 (第2号機海水ポンプ室) 構造図 (4/5)
東北電力株式会社	

防潮堤取合部・背面補強工部



KEY-PLAN



- *1: 特記なき寸法はmmを示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-10 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	防潮壁 (第2号機海水ポンプ室) 構造図 (5/5)
東北電力株式会社	

第9-4-1-1-6～第9-4-1-1-10 図 防潮壁（第2号機海水ポンプ室）構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法				許容範囲	根 拠	
天端高さ	鋼製部		O. P. +19. 0m	+規定しない 0 mm	土木工事共通仕様書による管理基準	
	RC部		O. P. +19. 0m O. P. +20. 0m	+30 mm 0 mm	同上	
鋼製遮水壁 (鋼板)	鋼板	厚さ	16. 0mm	+1. 9mm	『JIS G 3193』, 日本規格協会	
			20. 0mm	0. 0mm		
	鋼管杭	厚さ	25 mm	+規定しない	『JIS A 5525』, 日本規格協会	
30 mm			-1. 0 mm			
		直径	1. 5m	±7. 5 mm	同上	
鋼製遮水壁 (鋼桁) ①	鋼 桁	幅	2. 4m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門扉 検査要領』, 水門鉄管協会	
			たて	5. 0m		±6mm
			横	41. 85m		±20mm
	鋼管杭	厚さ	16 mm	+規定しない	『JIS A 5525』, 日本規格協会	
			22 mm	-1. 0 mm		
			直径	1. 5m	±7. 5 mm	同上
場所打ち コンクリ ート杭		直径	1. 7m 2. 0m	+規定しない -30 mm	土木工事共通仕様書による管理基準	
鋼製遮水壁 (鋼桁) ②	鋼 桁	幅	1. 0m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門扉 検査要領』, 水門鉄管協会	
			たて	5. 0m		±6mm
			横	16. 7m		±10mm
	鋼管杭	厚さ	24mm～37mm	+規定しない	『JIS A 5525』, 日本規格協会	
			直径	1. 5m		±7. 5 mm
		直径	1. 5m	±7. 5 mm	同上	
鋼製扉	鋼製扉	幅	0. 6m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門扉 検査要領』, 水門鉄管協会	
			たて	5. 15m		±6mm
			横	5. 9m		±6mm
	鋼管杭	厚さ	24mm～34mm	+規定しない	『JIS A 5525』, 日本規格協会	
			直径	1. 8m		±9. 0 mm
		直径	1. 8m	±9. 0 mm	同上	

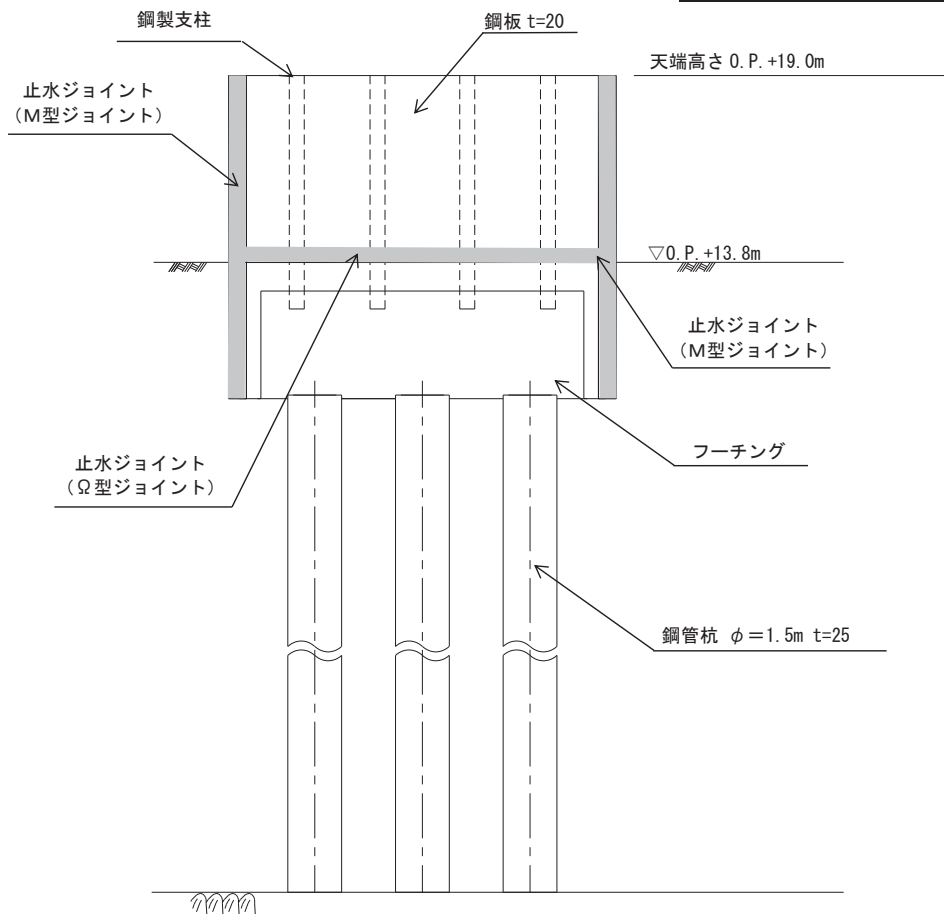
(次頁～続く)

(前頁からの続き)

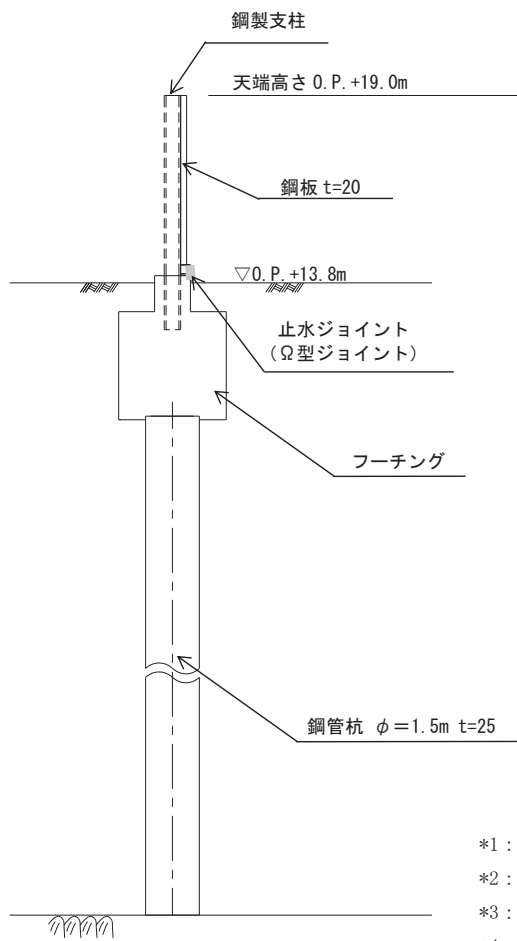
主要寸法				許容範囲	根 拠
防潮堤 取合部	鋼 板	厚さ	25.0mm	+2.0 mm 0.0mm	『JIS G 3193』, 日本規格 協会
	R C 壁	厚さ	1.0m ~1.5m	+規定しない -30 mm	土木工事共通仕様書による 管理基準
背面 補強工部	R C 壁	厚さ	0.7m	+規定しない -30 mm	同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

鋼製遮水壁（鋼板）①

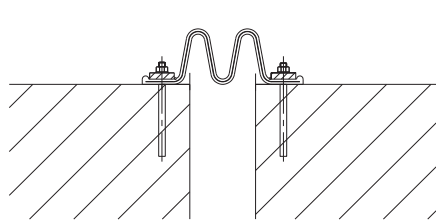
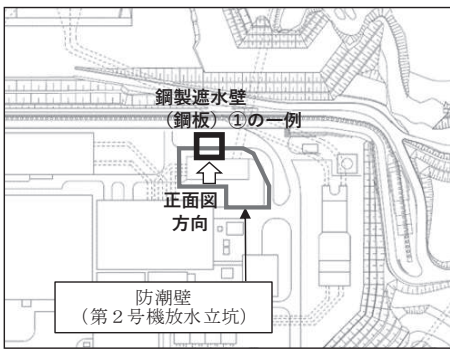


正面図

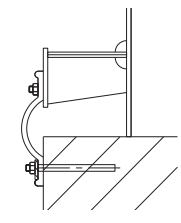


断面図

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)

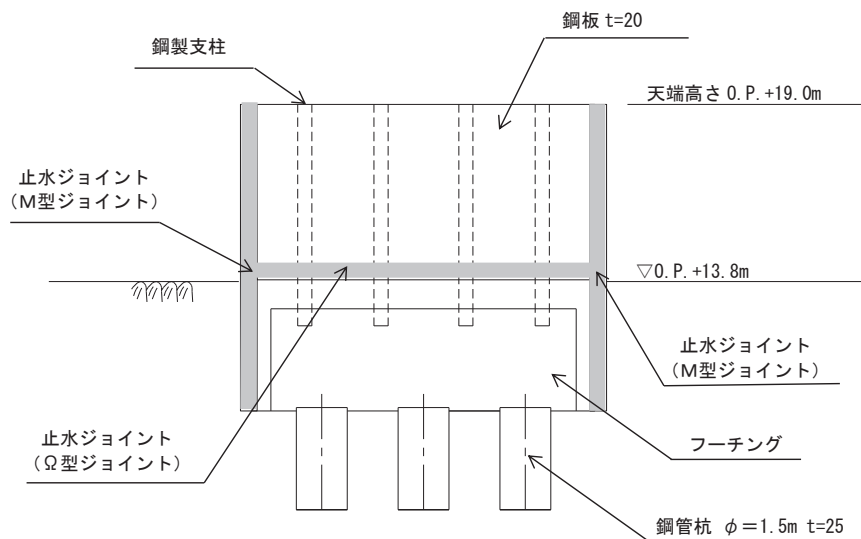


止水ジョイント詳細図
(Ω型ジョイント)

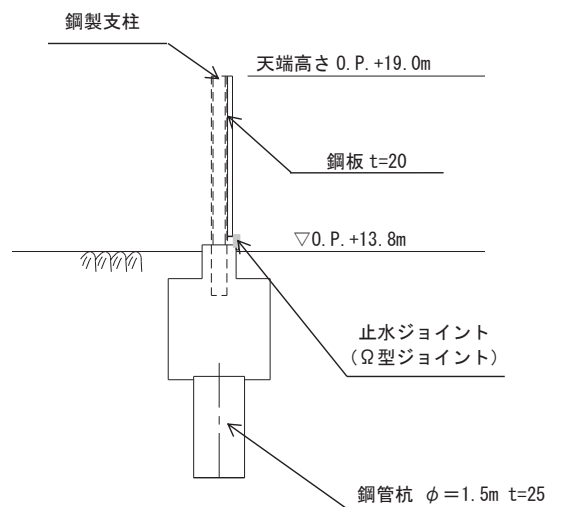
- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 寸法が複数ある場合には () にて示す。
- *4: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 止水ジョイント (M型ジョイント及びΩ型ジョイント) の交差部は金型にて製作する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-1 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機放水立坑) 構造図 (1/6)
東北電力株式会社	

鋼製遮水壁（鋼板）②

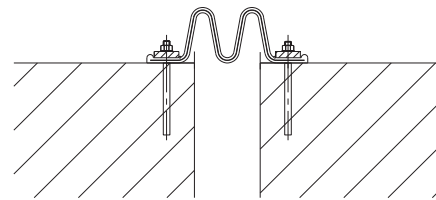
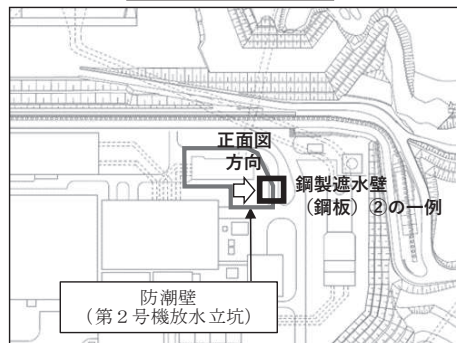


正面図

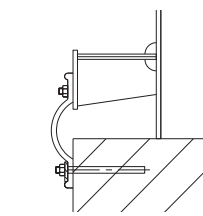


断面図

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)



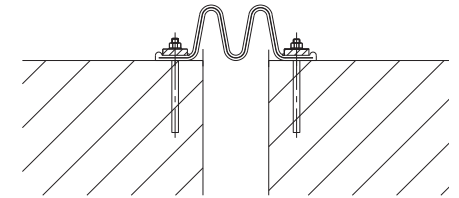
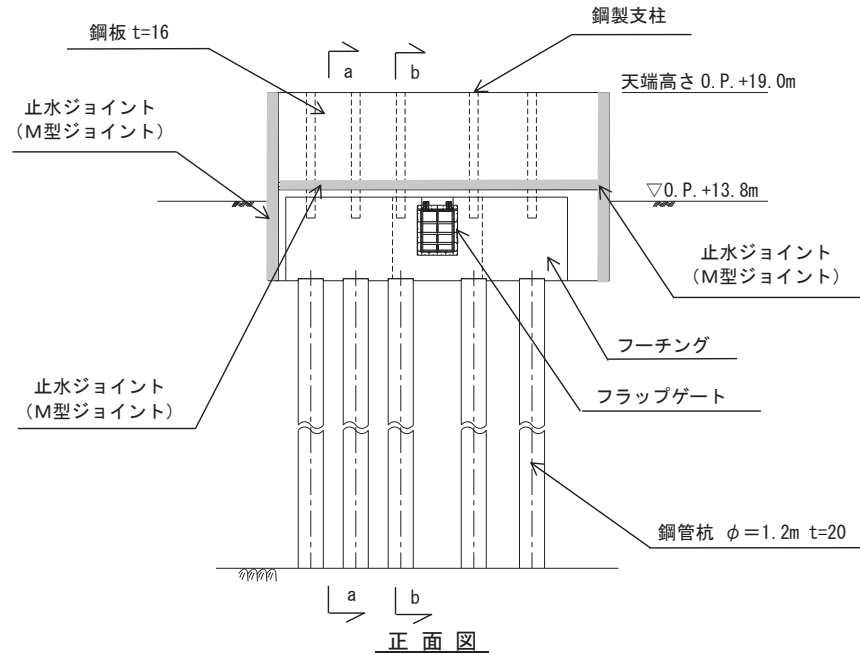
止水ジョイント詳細図
(Ω型ジョイント)

- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 寸法が複数ある場合には () にて示す。
- *4: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

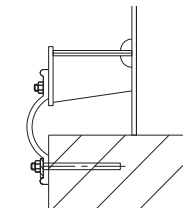
*4: 止水ジョイント (M型ジョイント及びΩ型ジョイント) の交差部は金型にて製作する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-12 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機放水立坑) 構造図 (2/6)
東北電力株式会社	

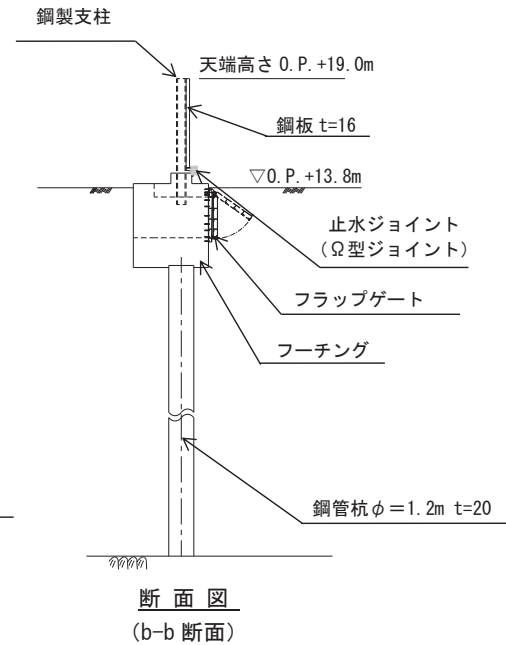
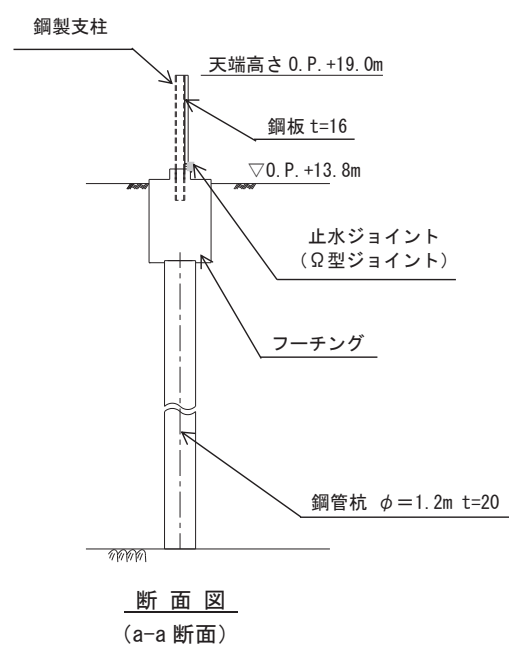
鋼製遮水壁（鋼板）③



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)

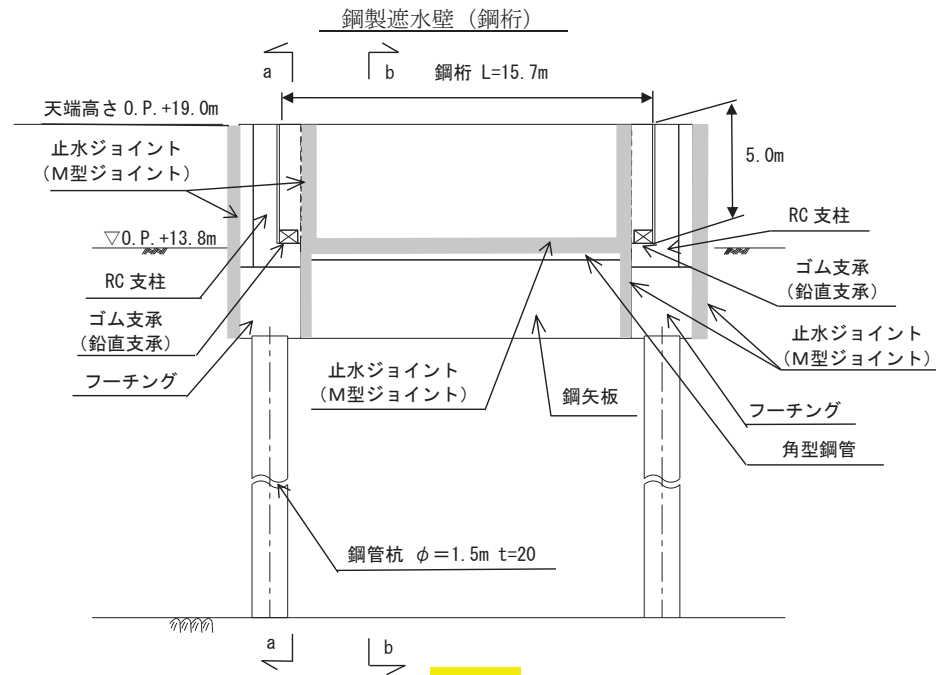


止水ジョイント詳細図
(Ω型ジョイント)

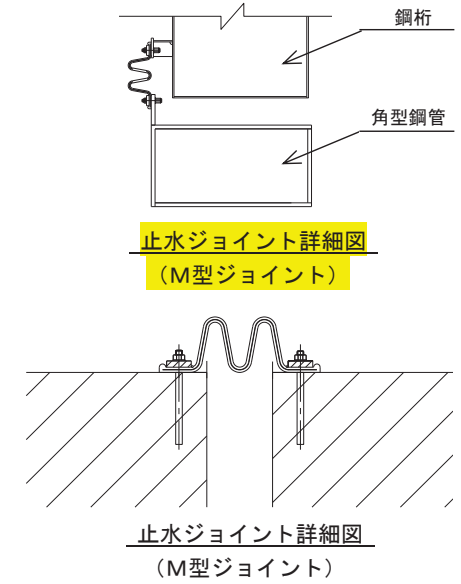


- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 寸法が複数ある場合には () にて示す。
- *4: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 止水ジョイント (M型ジョイント及びΩ型ジョイント) の交差部は金型にて製作する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-13 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機放水立坑) 構造図 (3/6)
東北電力株式会社	

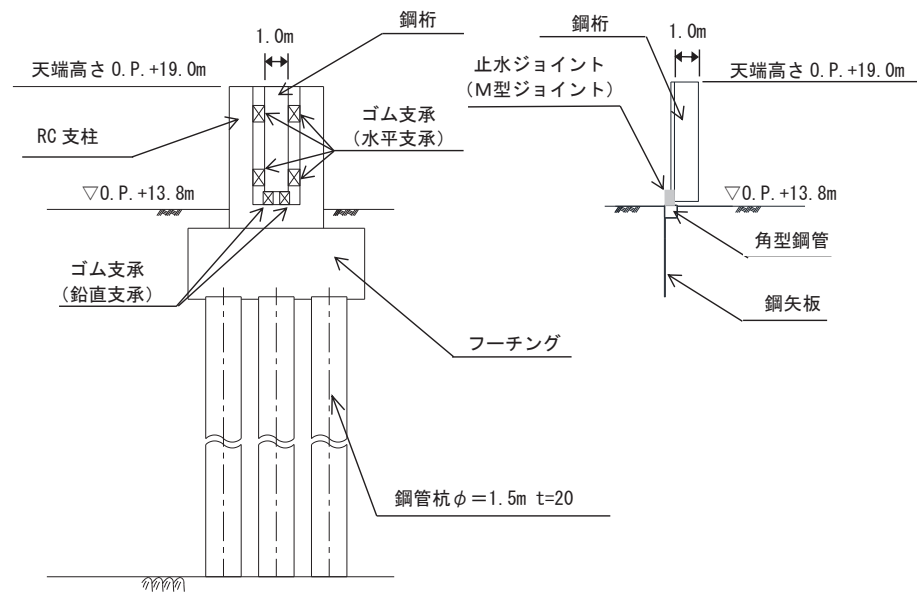


正面図



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)

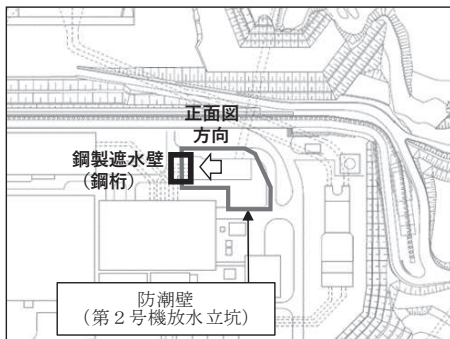
止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)



断面図
(a-a 断面)

断面図
(b-b 断面)

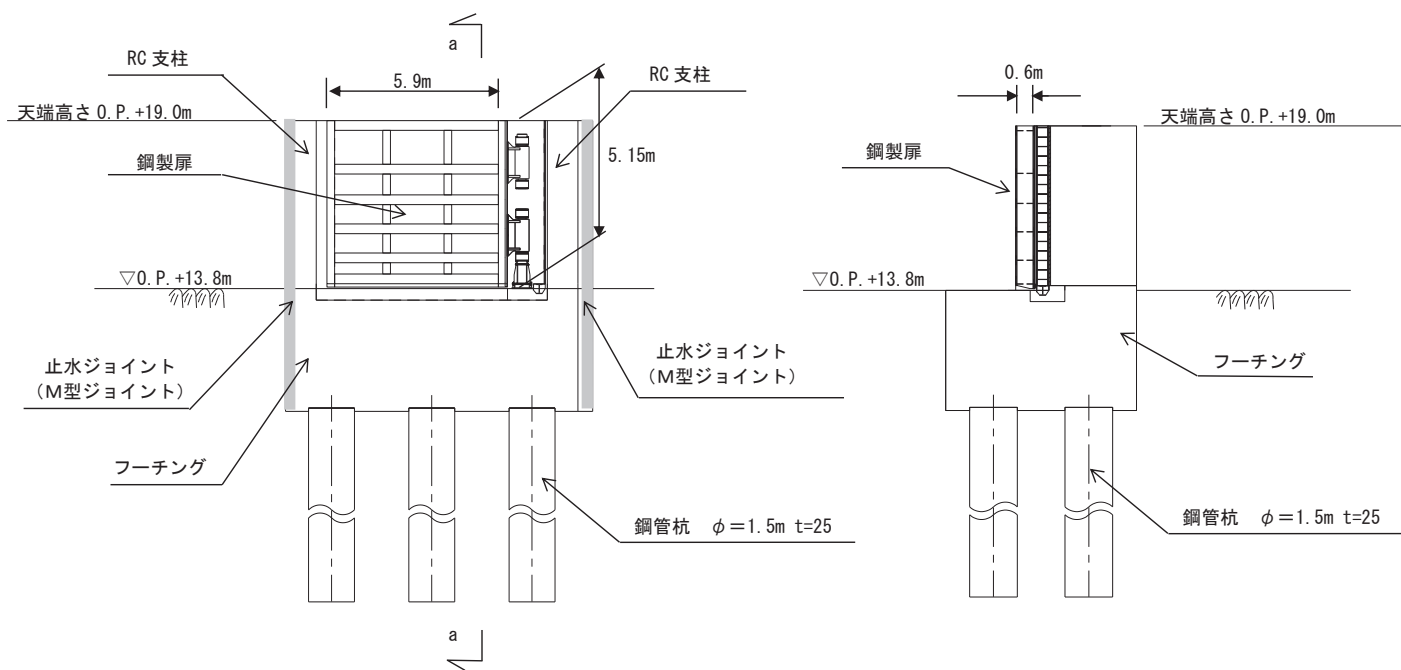
KEY-PLAN



- *1: 特記なき寸法はmmを示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 鋼桁を構成する鋼殻と鋼殻の継目には止水シール材を設置する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-14 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	防潮壁 (第2号機放水立坑) 構造図 (4/6)
東北電力株式会社	

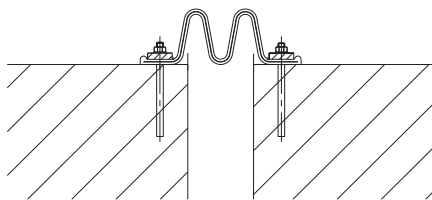
鋼製扉



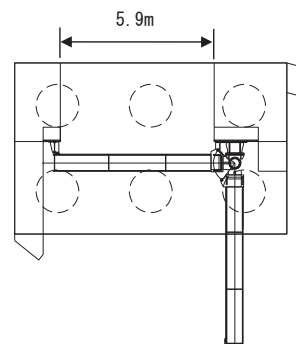
正面図

断面図
(a-a 断面)

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)

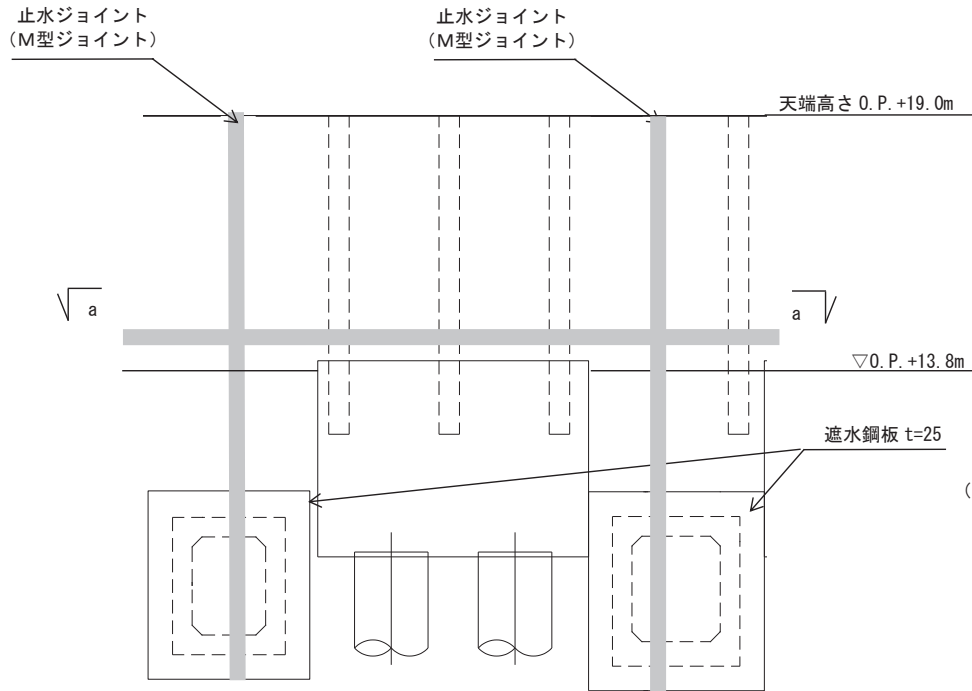


平面図

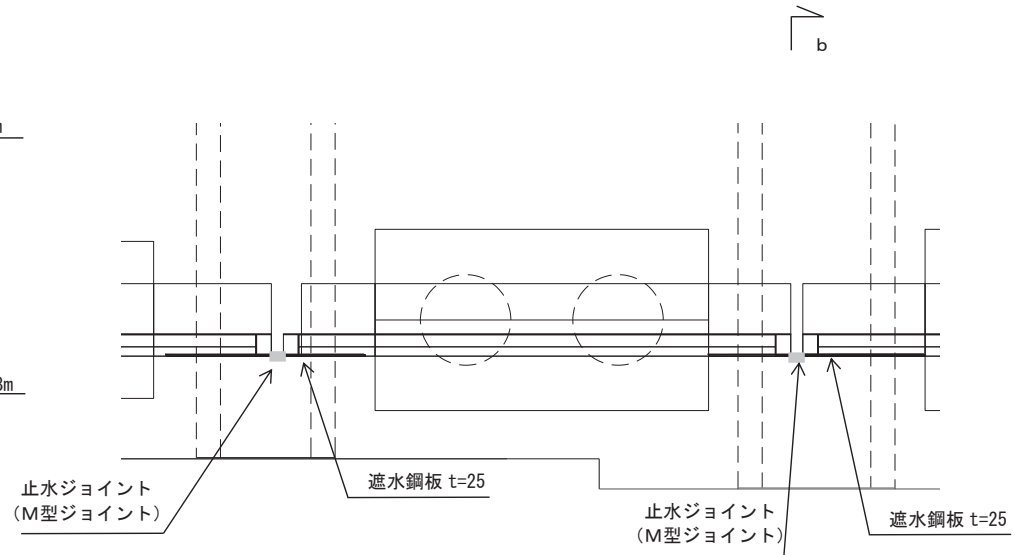
- *1: 特記なき寸法はmmを示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 鋼製扉と戸当り間には止水ゴム (P型ゴム)を設置する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-15 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	防潮壁 (第2号機放水立坑) 構造図 (5/6)
東北電力株式会社	

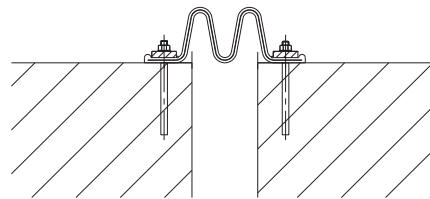
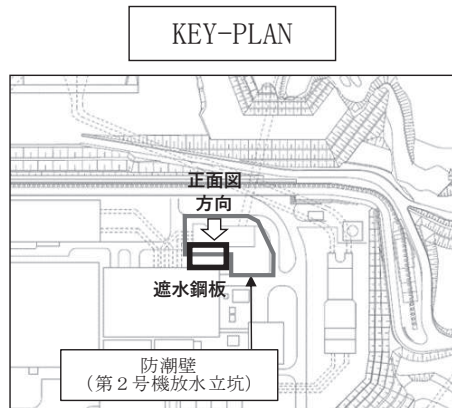
遮水鋼板



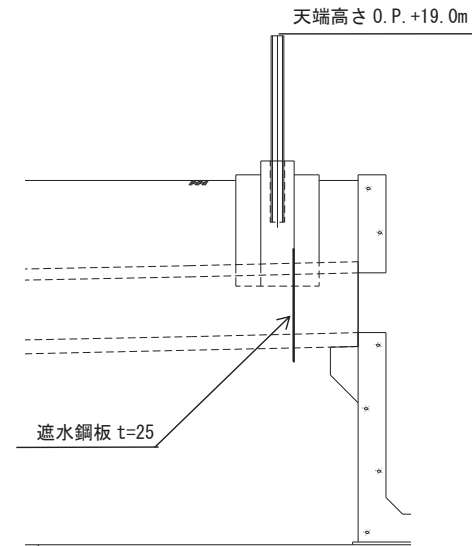
正面図



平面図
(a-a 断面)



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)



断面図
(b-b 断面)

- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 寸法が複数ある場合は () にて示す。
- *4: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地盤変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-16 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機放水立坑) 構造図 (6/6)
東北電力株式会社	

第9-4-1-1-11～第9-4-1-1-16 図 防潮壁（第2号機放水立坑）構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

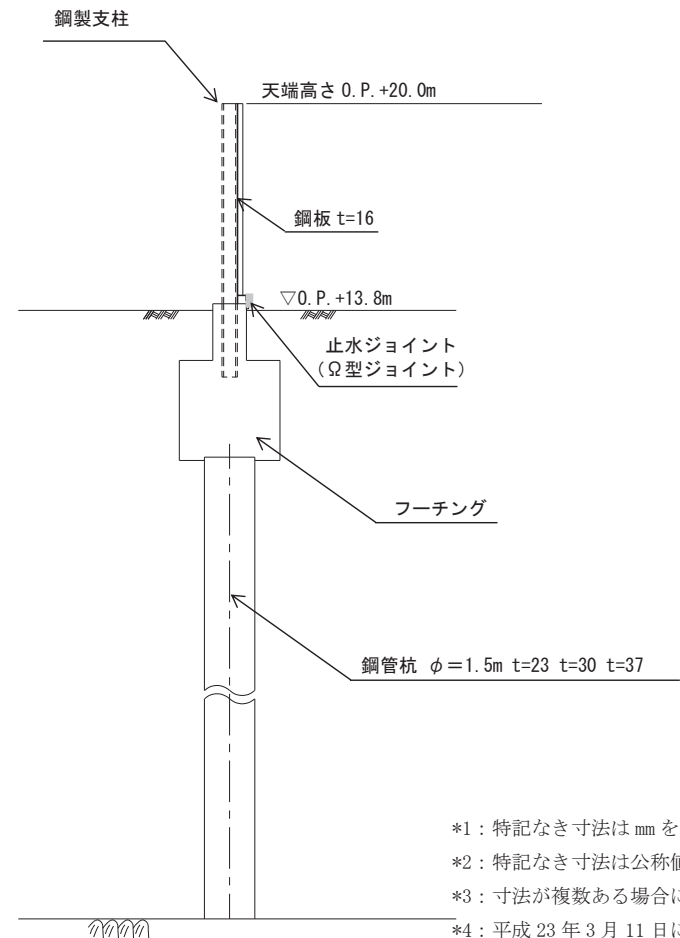
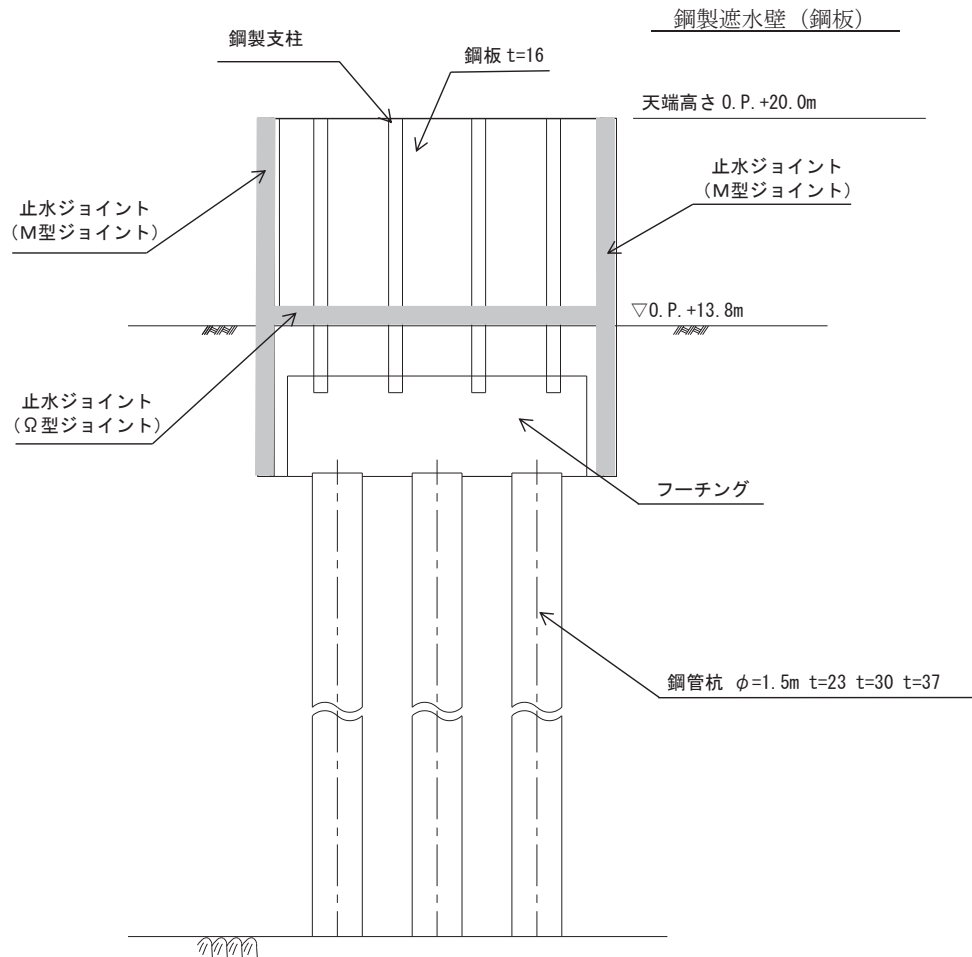
主要寸法				許容範囲	根 拠
天端高さ	鋼製部	O. P. +19.0m		+規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による 管理基準
	RC部			+30mm 0mm	
鋼製遮水壁 (鋼板) ①	鋼板	厚さ	20.0mm	+1.9mm 0.0mm	『JIS G 3193』, 日本規格 協会
	鋼管杭	厚さ	25mm	+規定しない -1.0mm	『JIS A 5525』, 日本規格 協会
		直径	1.5m	±7.5mm	同上
鋼製遮水壁 (鋼板) ②	鋼板	厚さ	20.0mm	+1.9mm 0.0mm	『JIS G 3193』, 日本規格 協会
	鋼管杭	厚さ	25mm	+規定しない -1.0mm	『JIS A 5525』, 日本規格 協会
		直径	1.5m	±7.5mm	同上
鋼製遮水壁 (鋼板) ③	鋼板	厚さ	16.0mm	+1.9mm 0.0mm	『JIS G 3193』, 日本規格 協会
	鋼管杭	厚さ	20mm	+規定しない -1.0mm	『JIS A 5525』, 日本規格 協会
		直径	1.2m	±6.0mm	同上
鋼製遮水壁 (鋼桁)	鋼桁	幅	1.0m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門 扉検査要領』, 水門鉄管協 会
		たて	5.0m	±6mm	
		横	15.7m	±10mm	
	鋼管杭	厚さ	20mm	+規定しない -1.0mm	『JIS A 5525』, 日本規格 協会
		直径	1.5m	±7.5mm	同上
鋼製扉	鋼製扉	幅	0.6m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門 扉検査要領』, 水門鉄管協 会
		たて	5.15m	±6mm	
		横	5.9m	±6mm	
	鋼管杭	厚さ	25mm	+規定しない -1.0mm	『JIS A 5525』, 日本規格 協会
		直径	1.5m	±7.5mm	同上

(次頁へ続く)

(前頁からの続き)

主要寸法			許容範囲	根拠
遮水鋼板	厚さ	25 mm	+1.6mm 0.0mm	『JIS G 3193』, 日本規格 協会

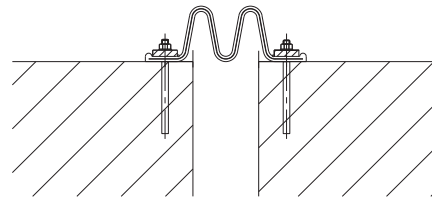
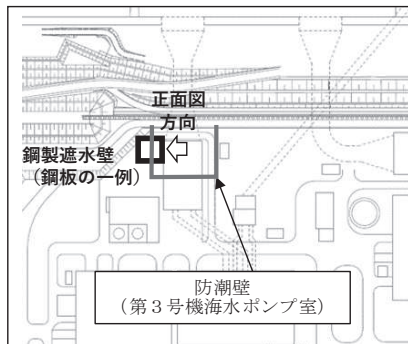
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



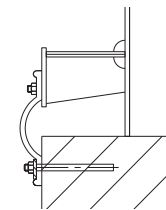
KEY-PLAN

正面図

断面図



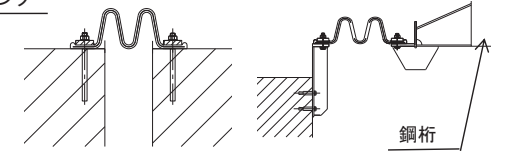
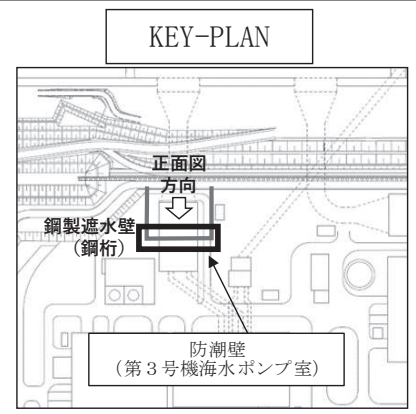
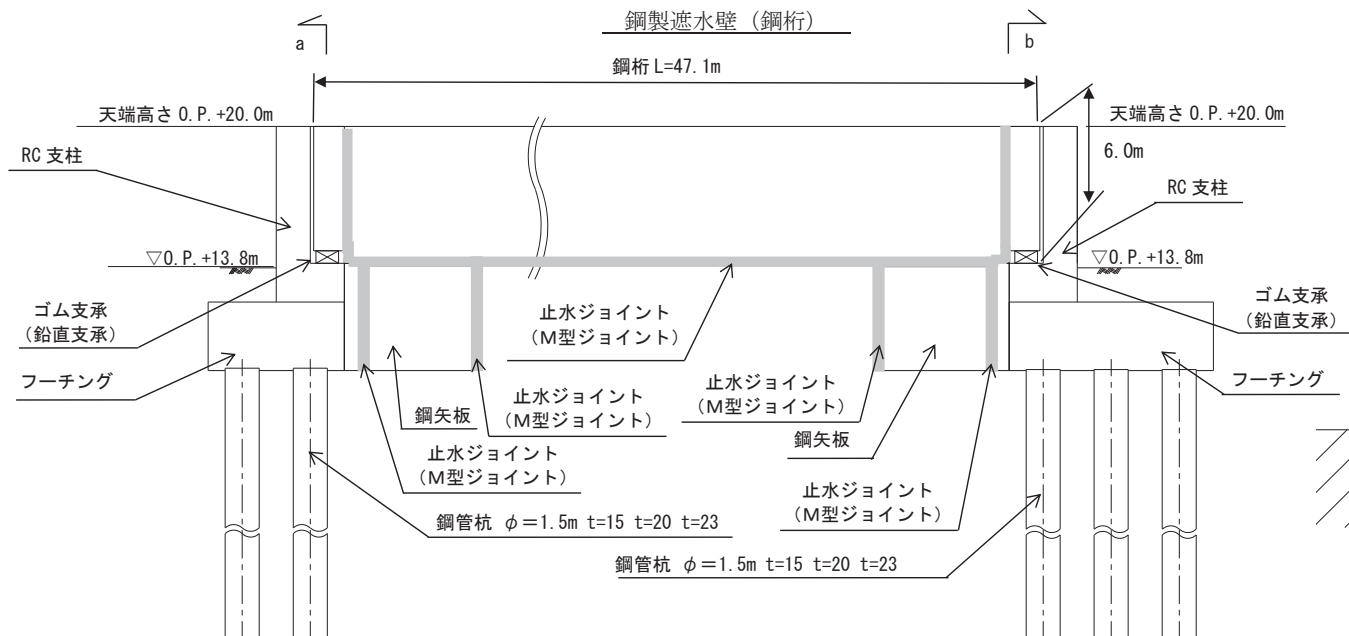
止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)



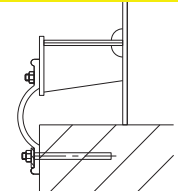
止水ジョイント詳細図
(Ω型ジョイント)

- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 寸法が複数ある場合には () にて示す。
- *4: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 止水ジョイント (M型ジョイント及びΩ型ジョイント) の交差部は金型にて製作する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-17 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 3 号機海水ポンプ室) 構造図 (1/4)
東北電力株式会社	

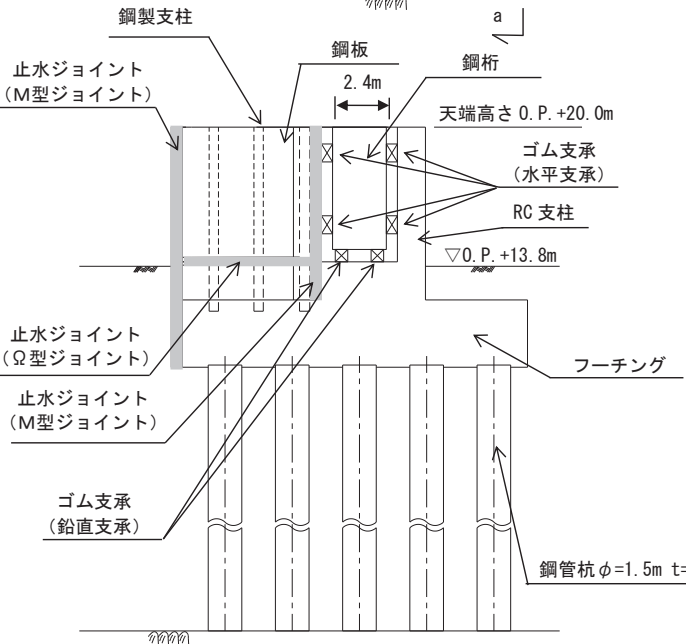


止水ジョイント詳細図 (M型ジョイント)

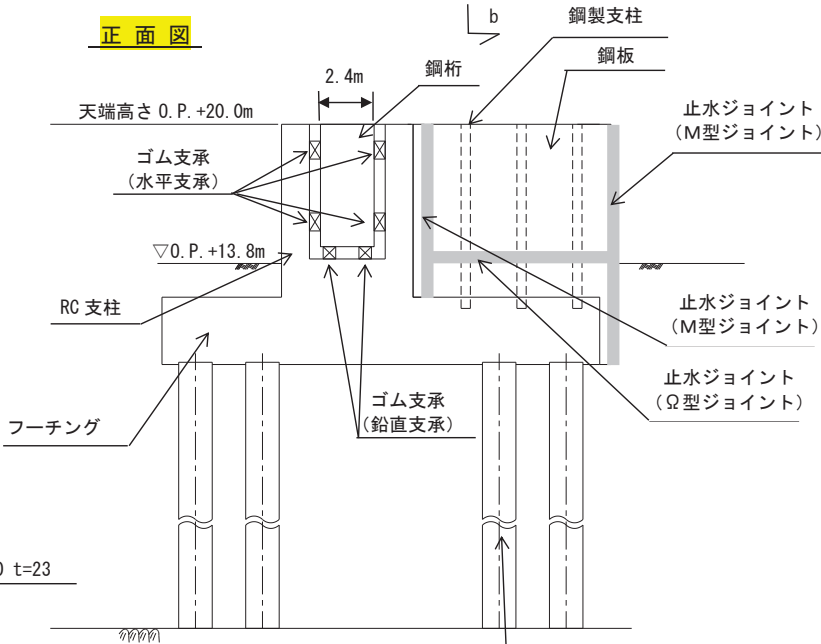


止水ジョイント詳細図 (Ω型ジョイント)

- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 止水ジョイント (M型ジョイント及びΩ型ジョイント) の交差部は金型にて製作する。
- *5: 鋼桁を構成する鋼殻と鋼殻の継目には止水シール材を設置する。



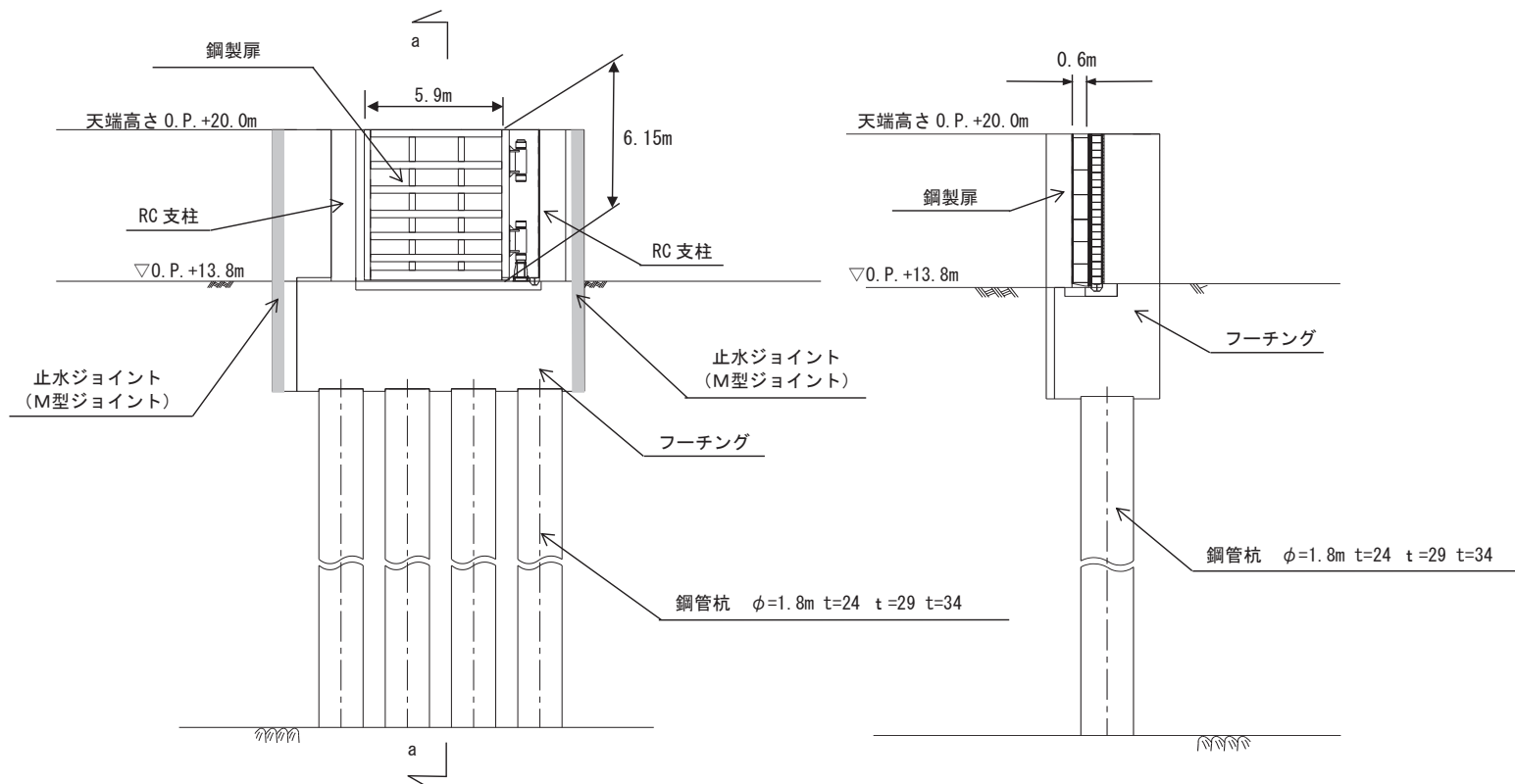
断面図 (a-a 断面)



断面図 (b-b 断面)

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-18 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 3 号機海水ポンプ室) 構造図 (2/4)
東北電力株式会社	

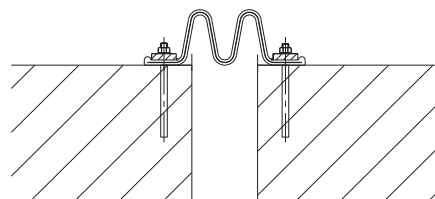
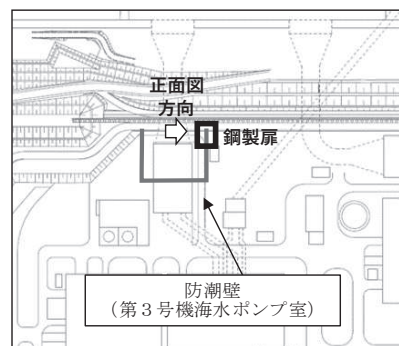
鋼製扉



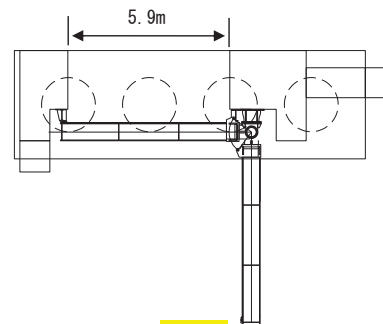
正面図

断面図
(a-a 断面)

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)

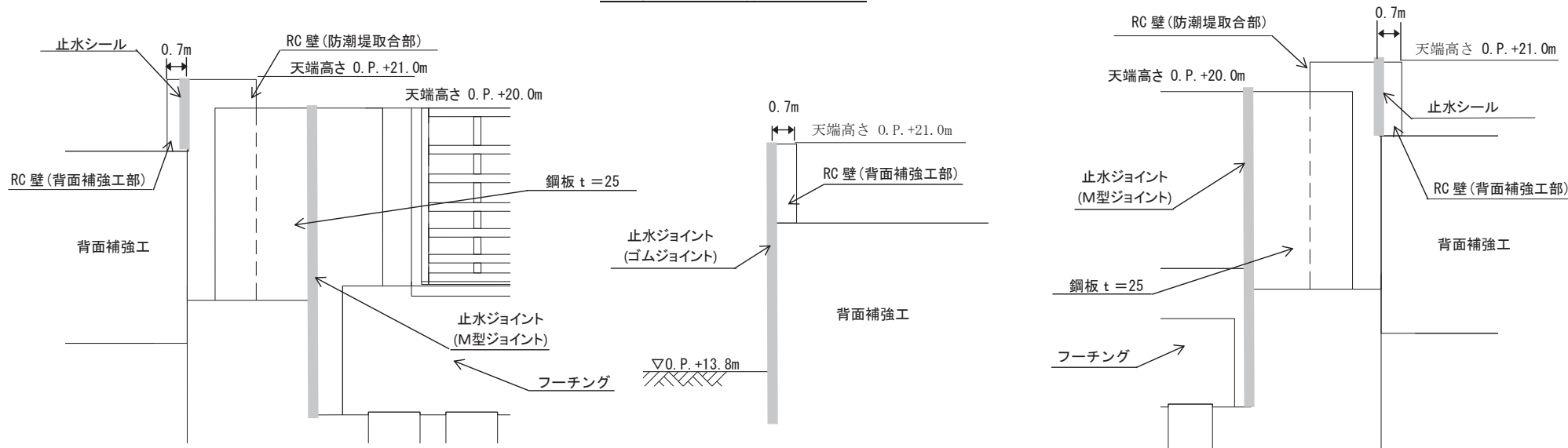


平面図

- *1: 特記なき寸法はmmを示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 鋼製扉と戸当り間には止水ゴム (P型ゴム)を設置する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-19 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	防潮壁 (第3号機海水ポンプ室) 構造図 (3/4)
東北電力株式会社	

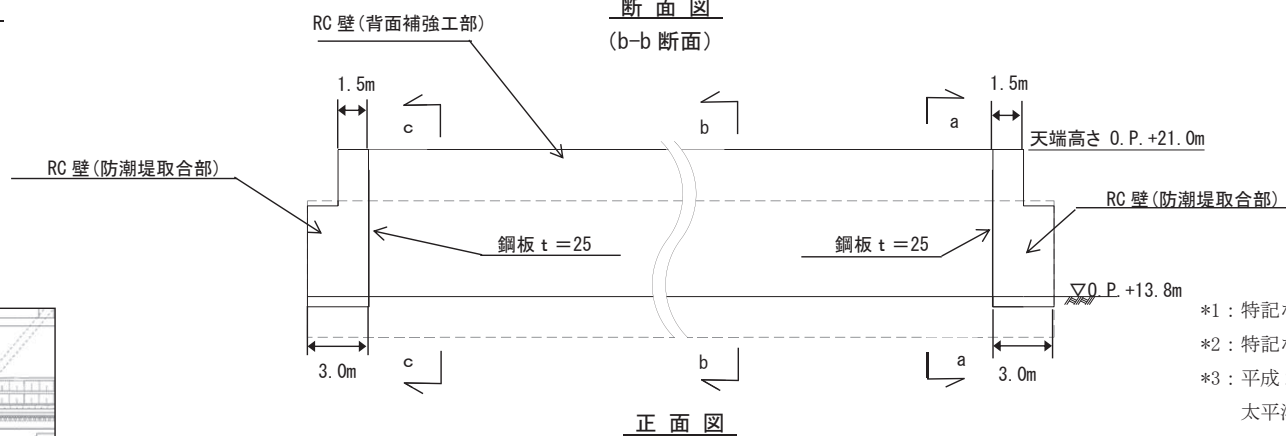
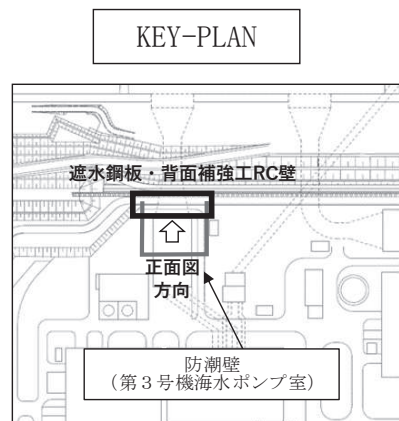
防潮堤取合部・背面補強工部



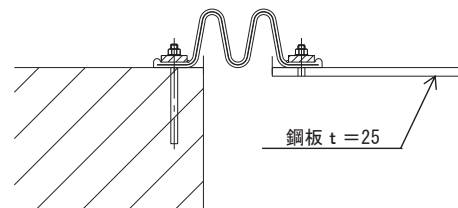
断面図
(a-a 断面)

断面図
(b-b 断面)

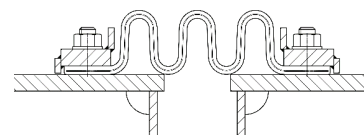
断面図
(c-c 断面)



正面図



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)



止水ジョイント詳細図
(ゴムジョイント)

- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-20 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 3 号機海水ポンプ室) 構造図 (4/4)
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-17 ~ 第 9-4-1-1-20 図 防潮壁（第 3 号機海水ポンプ室）構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

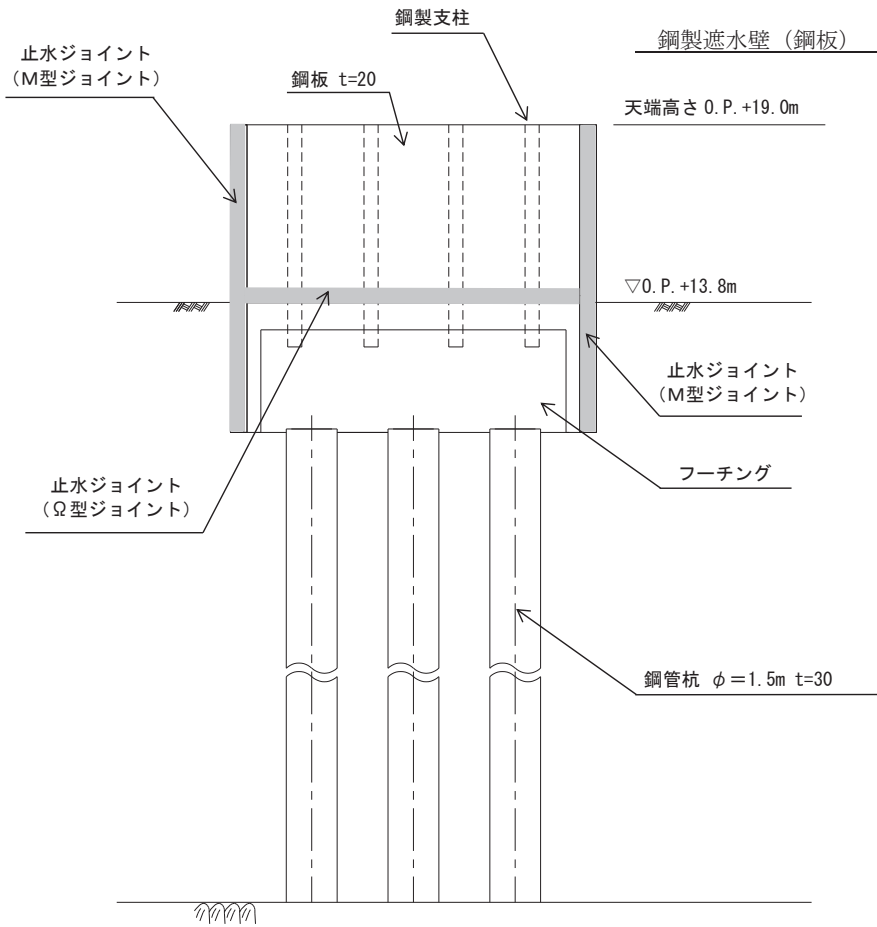
主要寸法				許容範囲	根 拠
天端高さ		鋼製部	O. P. +20. 0m	+規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による管理基準
		RC 部	O. P. +20. 0m O. P. +21. 0m	+30mm 0mm	同上
鋼製遮水壁 (鋼板)	鋼板	厚さ	16. 0mm	+1. 9mm 0. 0mm	『JIS G 3193』, 日本規格協会
		鋼管杭	厚さ	23 mm~37 mm	+規定しない -1. 0 mm
	直径		1. 5m	±7. 5 mm	同上
鋼製遮水壁 (鋼桁)	鋼桁	幅	2. 4m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』, 水門鉄管協会
		たて	6. 0m	±6mm	
		横	47. 1m	±20mm	
	鋼管杭	厚さ	15 mm~23 mm	+規定しない -1. 0 mm	『JIS A 5525』, 日本規格協会
		直径	1. 5m	±7. 5 mm	同上
鋼製扉	鋼製扉	幅	0. 6m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』, 水門鉄管協会
		たて	6. 15m	±6mm	
		横	5. 9m	±6mm	
	鋼管杭	厚さ	24 mm~34 mm	+規定しない -1. 0 mm	『JIS A 5525』, 日本規格協会
		直径	1. 8m	±9. 0 mm	同上

(次頁へ続く)

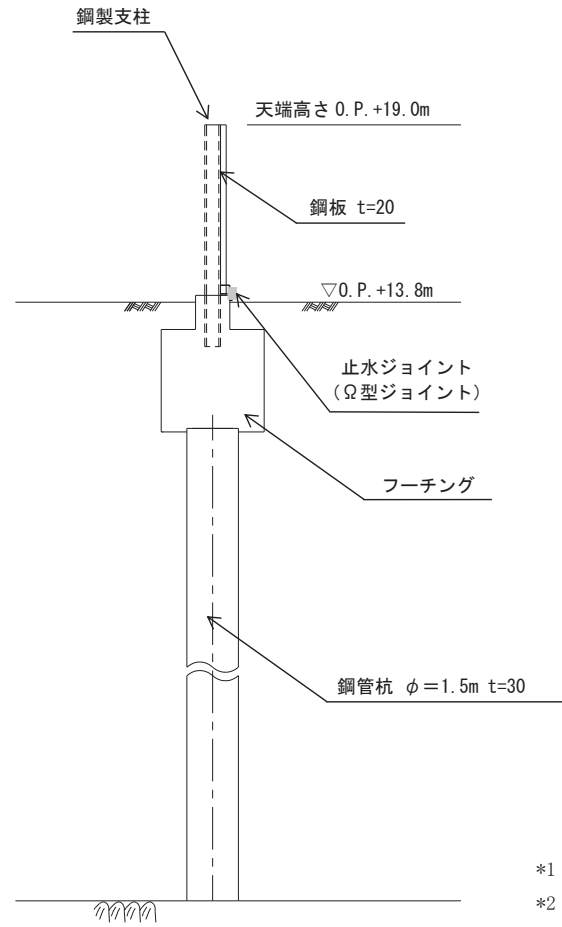
(前頁からの続き)

主要寸法				許容範囲	根 拠
防潮堤 取合部	鋼 板	厚さ	25.0mm	+2.0mm 0.0mm	『JIS G 3193』, 日本規格 協会
	R C 壁	厚さ	1.5m~3.0m	+規定しない -30 mm	土木工事共通仕様書による 管理基準
背面 補強工部	R C 壁	厚さ	0.7m	+規定しない -30 mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

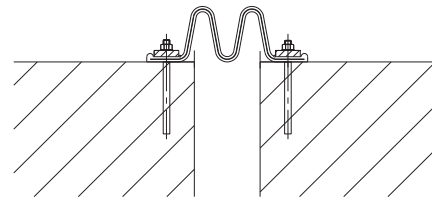
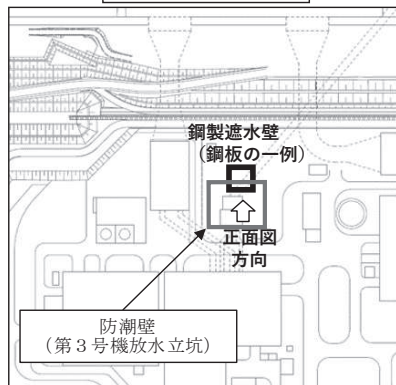


正面図

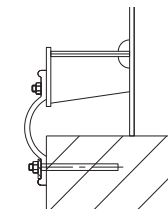


断面図

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)

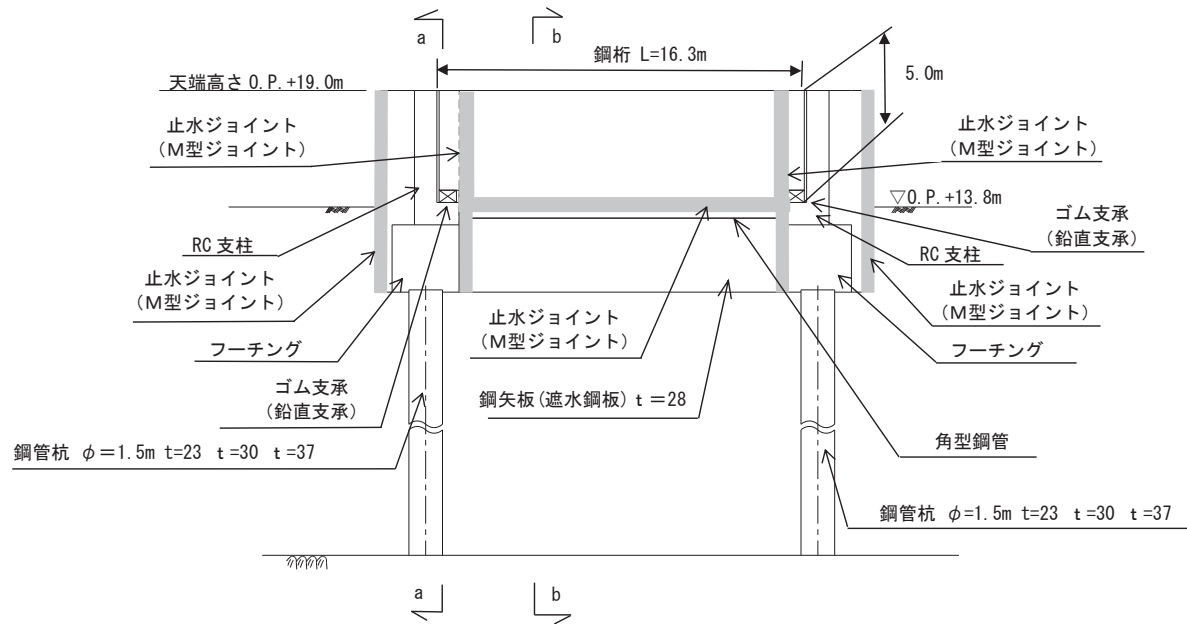


止水ジョイント詳細図
(Ω型ジョイント)

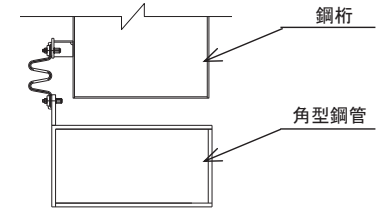
- *1: 特記なき寸法は mm を示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 寸法が複数ある場合には () にて示す。
- *4: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 止水ジョイント (M型ジョイント及びΩ型ジョイント) の交差部は金型にて製作する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-21 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 3 号機放水立坑) 構造図 (1 / 4)
東北電力株式会社	

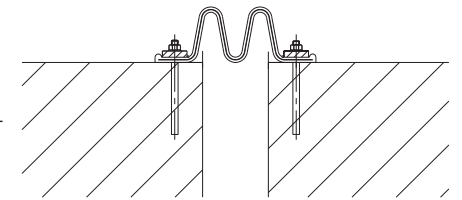
鋼製遮水壁（鋼桁）①



正面図

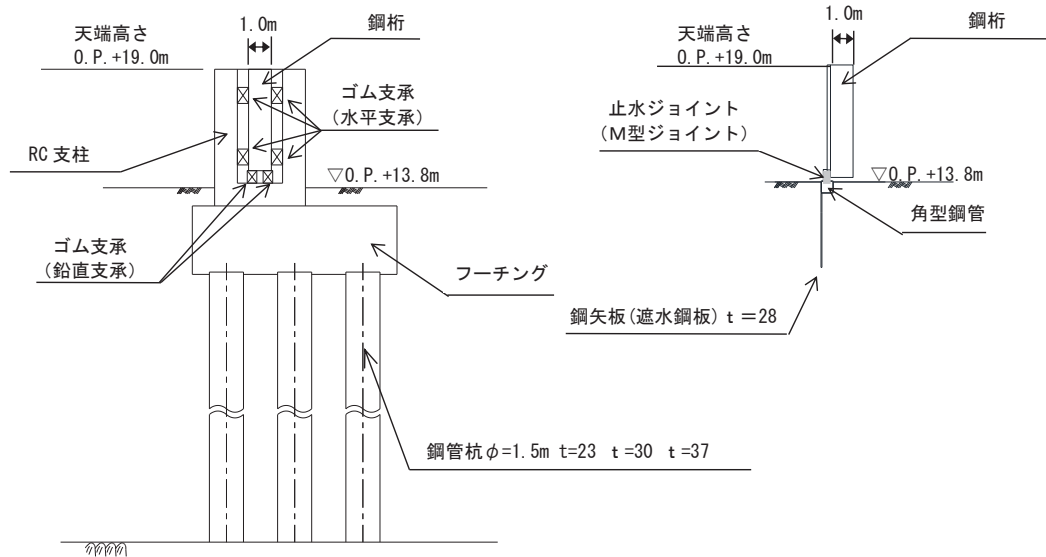
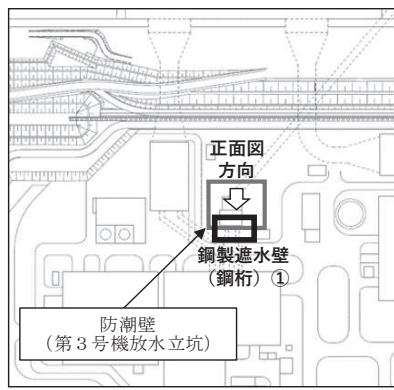


止水ジョイント詳細図 (M型ジョイント)

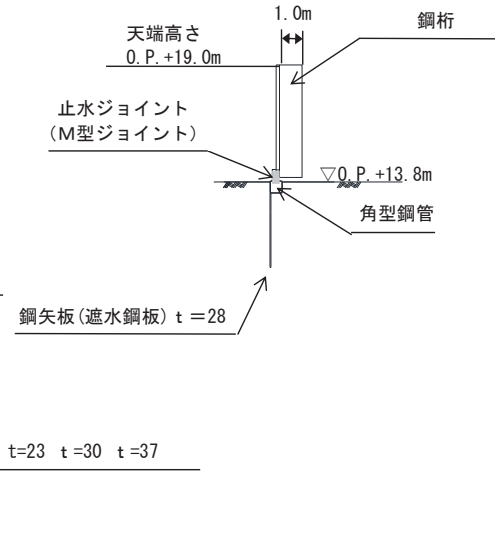


止水ジョイント詳細図 (M型ジョイント)

KEY-PLAN



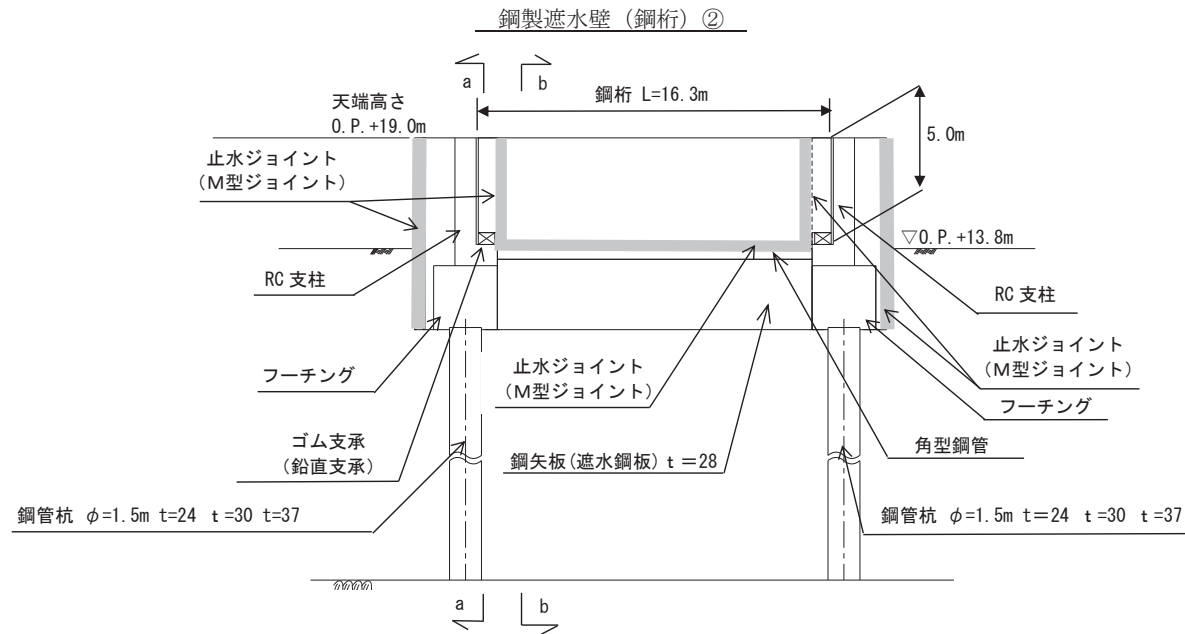
断面図 (a-a 断面)



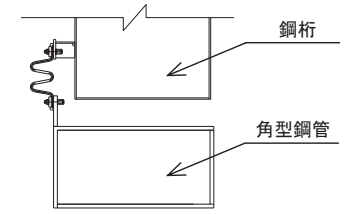
断面図 (b-b 断面)

- *1: 特記なき寸法はmmを示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地盤変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 鋼桁を構成する鋼殻と鋼殻の継目には止水シール材を設置する。

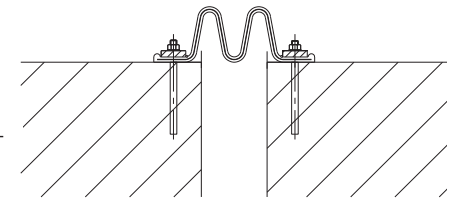
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-22 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	防潮壁 (第3号機放水立坑) 構造図 (2/4)
東北電力株式会社	



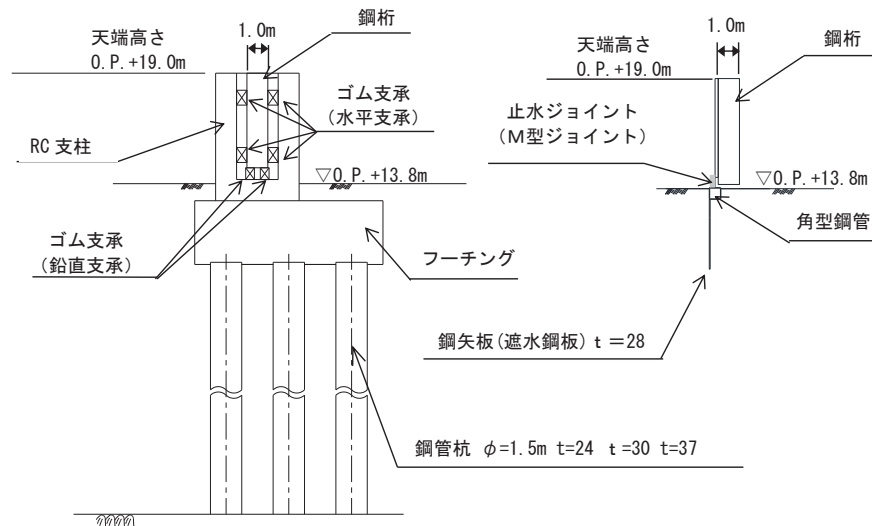
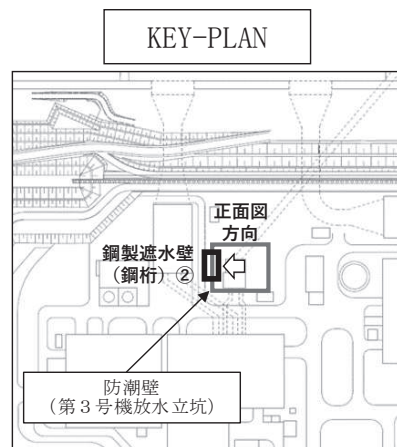
正面図



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)

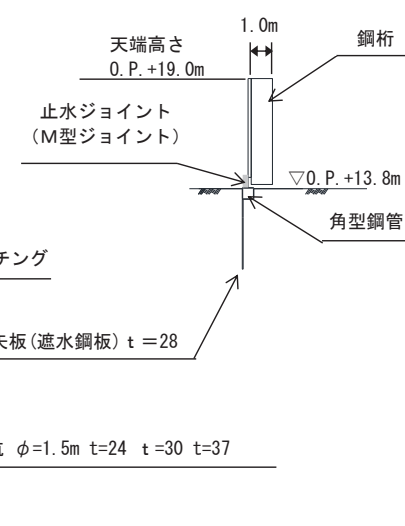


止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)



断面図

(a-a 断面)



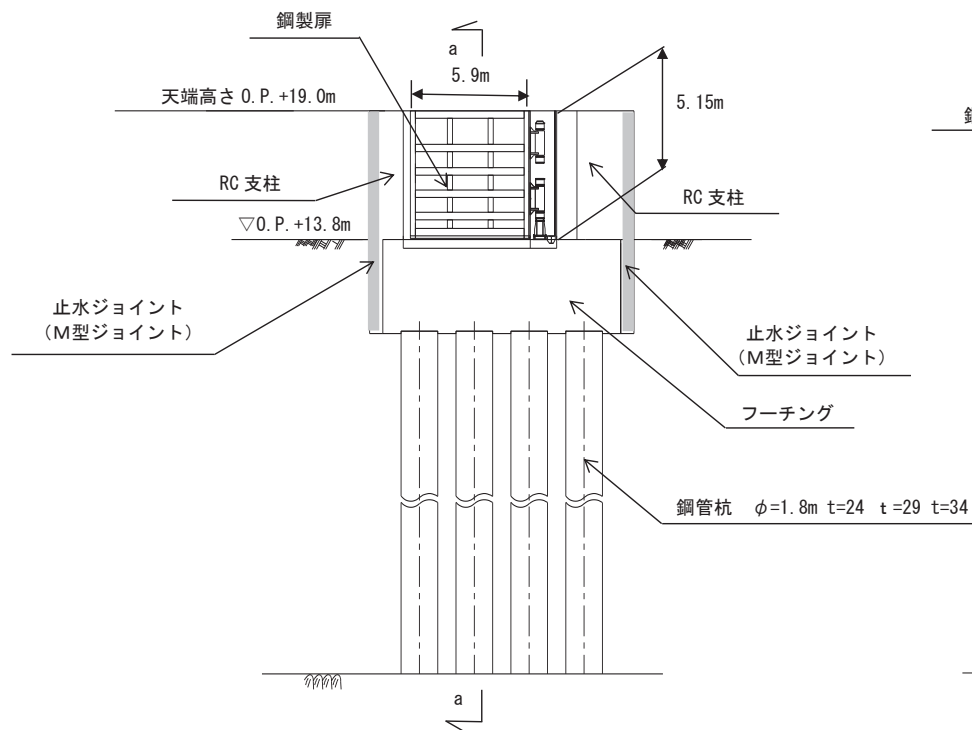
断面図

(b-b 断面)

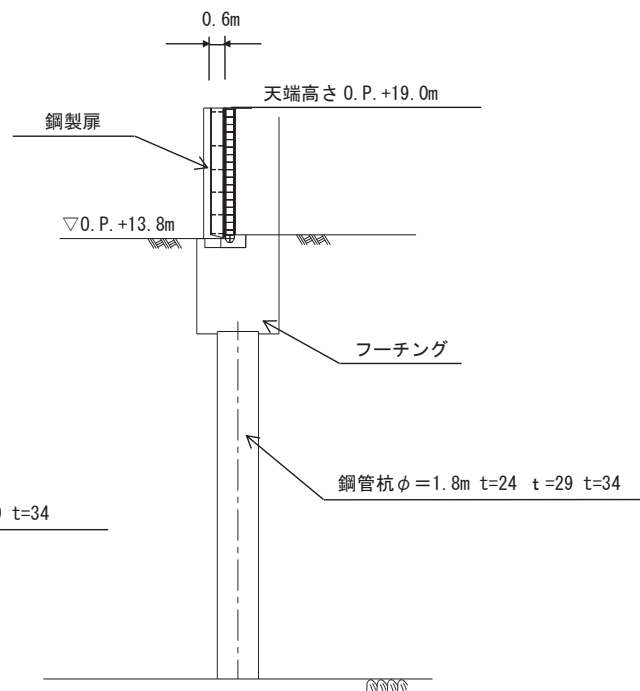
- *1: 特記なき寸法はmmを示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 鋼桁を構成する鋼殻と鋼殻の継目には止水シール材を設置する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-23 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	防潮壁 (第3号機放水立坑) 構造図 (3/4)
東北電力株式会社	

鋼製扉

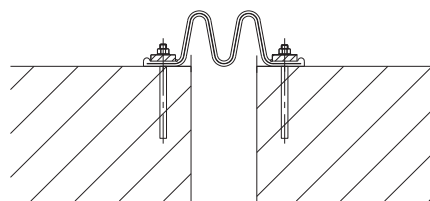
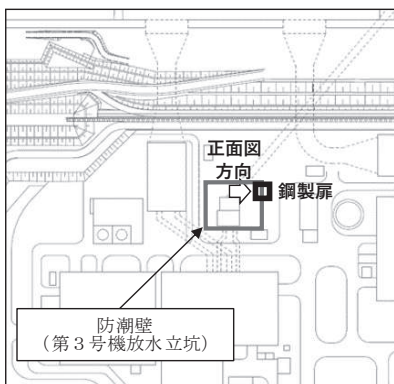


正面図

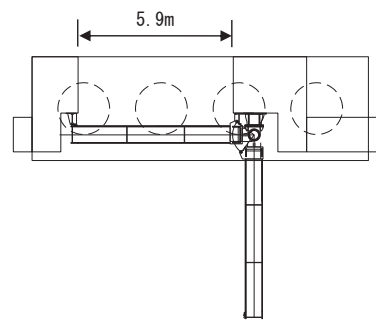


断面図
(a-a 断面)

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図
(M型ジョイント)



平面図

- *1: 特記なき寸法はmmを示す。
- *2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- *3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。
- *4: 鋼製扉と戸当り間には止水ゴム (P型ゴム) を設置する。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-24 図
名称	防潮壁 (第3号機放水立坑) 構造図 (4/4)
東北電力株式会社	

第9-4-1-1-21～第9-4-1-1-24 図 防潮壁（第3号機放水立坑）構造図 別紙

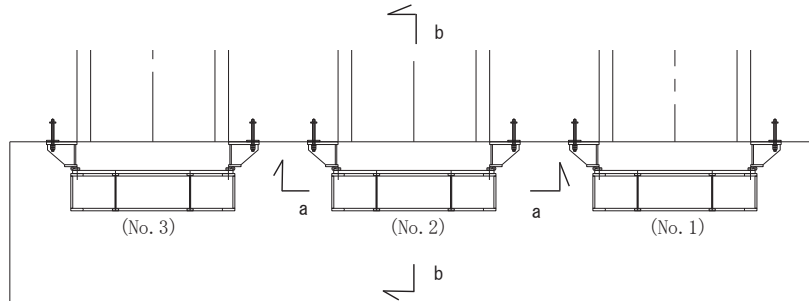
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法				許容範囲	根 拠
天端高さ		鋼製部	O. P. +19. 0m	+規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による 管理基準
		RC 部		+30mm 0mm	
鋼製遮水壁 (鋼板)	鋼板	厚さ	20. 0mm	+1. 9mm 0. 0mm	『JIS G 3193』, 日本規格 協会
	鋼管杭	厚さ	30 mm	+規定しない -1. 0 mm	『JIS A 5525』, 日本規格 協会
		直径	1. 5m	±7. 5 mm	同上
鋼製遮水壁 (鋼桁) ①	鋼桁	幅	1. 0m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門 扉検査要領』, 水門鉄管協 会
		たて	5. 0m	±6mm	
		横	16. 3m	±10mm	
	鋼管杭	厚さ	23 mm～37 mm	+規定しない -1. 0 mm	『JIS A 5525』, 日本規格 協会
		直径	1. 5m	±7. 5 mm	同上
	遮水鋼板	厚さ	28. 0 mm	+2. 0mm 0. 0mm	『JIS G 3193』, 日本規格 協会
鋼製遮水壁 (鋼桁) ②	鋼桁	幅	1. 0m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門 扉検査要領』, 水門鉄管協 会
		たて	5. 0m	±6mm	
		横	16. 3m	±10mm	
	鋼管杭	厚さ	24 mm～37 mm	+規定しない -1. 0 mm	『JIS A 5525』, 日本規格 協会
		直径	1. 5m	±7. 5 mm	同上
	遮水鋼板	厚さ	28. 0 mm	+2. 0mm 0. 0mm	『JIS G 3193』, 日本規格 協会
鋼製扉	鋼製扉	幅	0. 6m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門 扉検査要領』, 水門鉄管協 会
		たて	5. 15m	±6mm	
		横	5. 9m	±6mm	
	鋼管杭	厚さ	24 mm～34 mm	+規定しない -1. 0 mm	『JIS A 5525』, 日本規格 協会
		直径	1. 8m	±9. 0 mm	同上

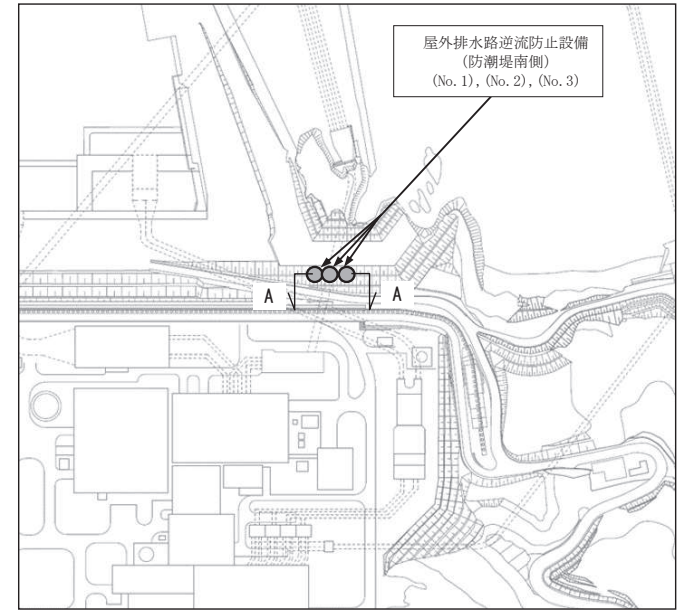
注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

屋外排水路逆流防止設備（防潮堤南側）構造図

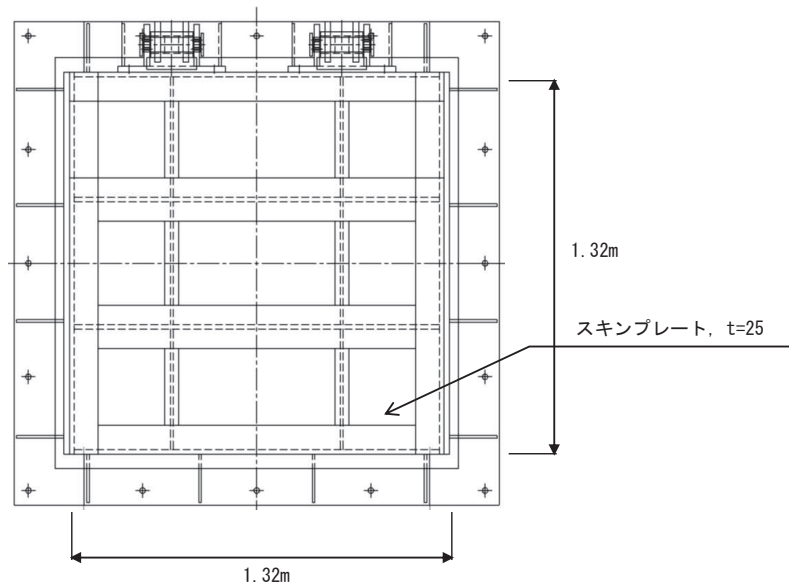
平面図（A-A断面）



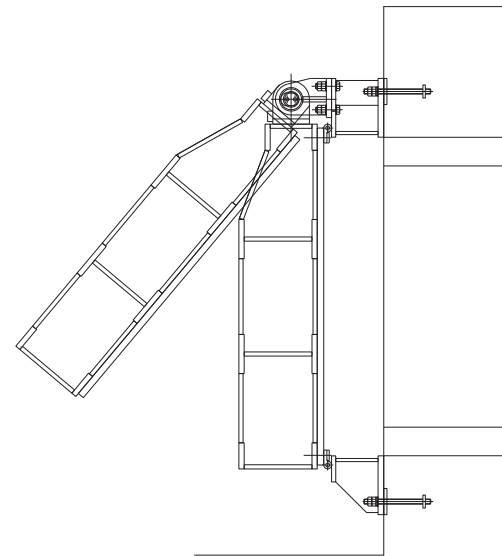
KEY-PLAN



正面図（a-a断面）



側面図（b-b断面）



*1: 特記なき寸法は mm を示す。
*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-28 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	屋外排水路逆流防止設備 (防潮堤南側) (No.1),(No.2),(No.3) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-28 図 屋外排水路逆流防止設備（防潮堤南側）(No. 1), (No. 2), (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

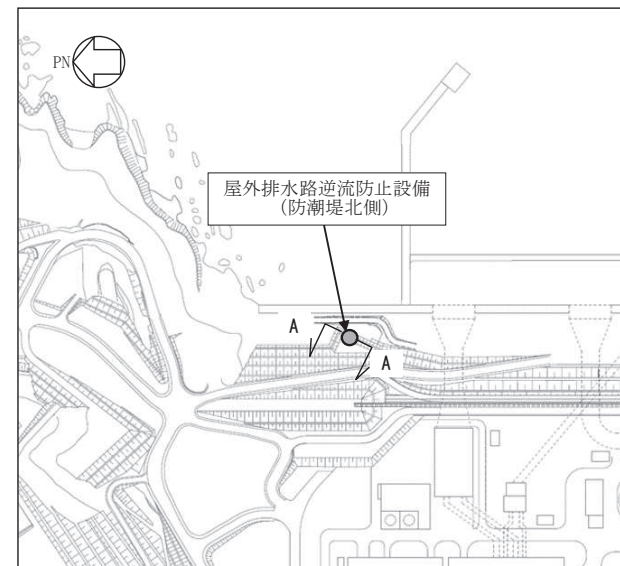
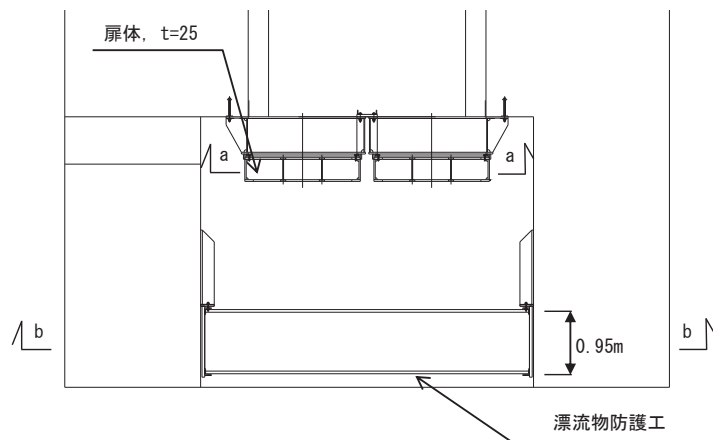
主要寸法		許容範囲	根 拠
た	て	1.32m	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
横		1.32m	
スキンプレート	厚 さ	25.0mm	『JIS G 4304』，日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

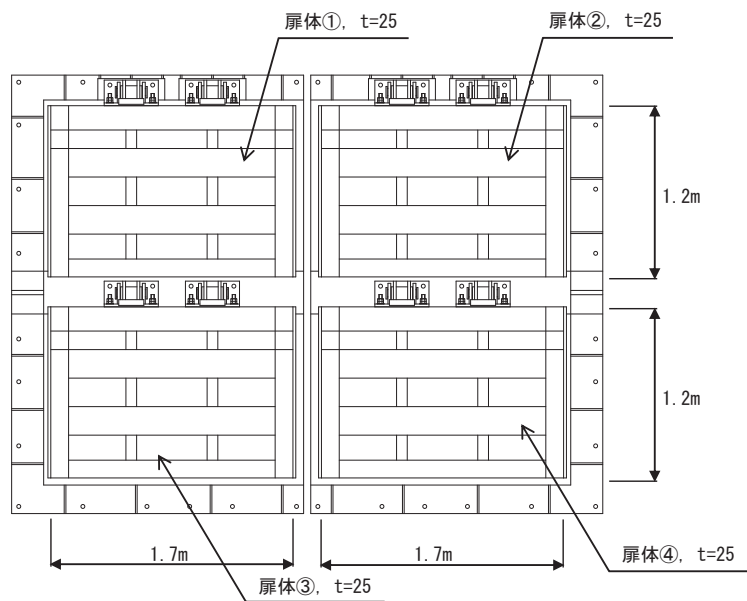
屋外排水路逆流防止設備（防潮堤北側）構造図

KEY-PLAN

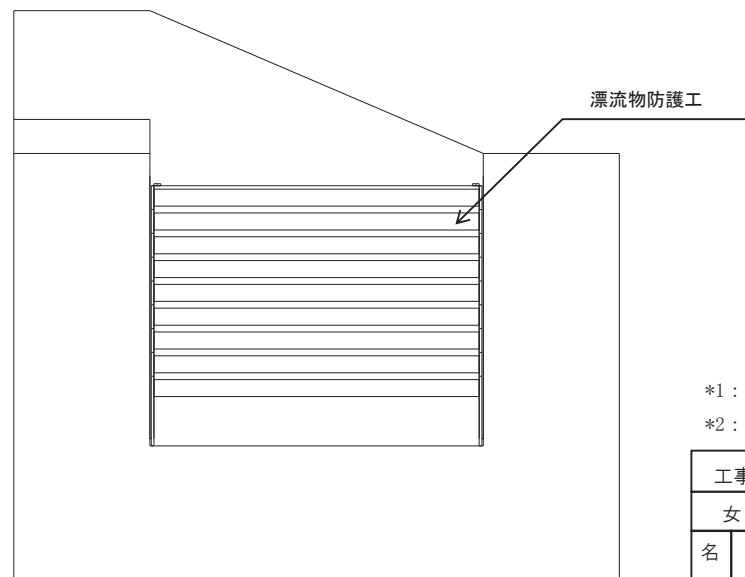
平面図（A-A断面）



正面図（a-a断面）



正面図（b-b断面）



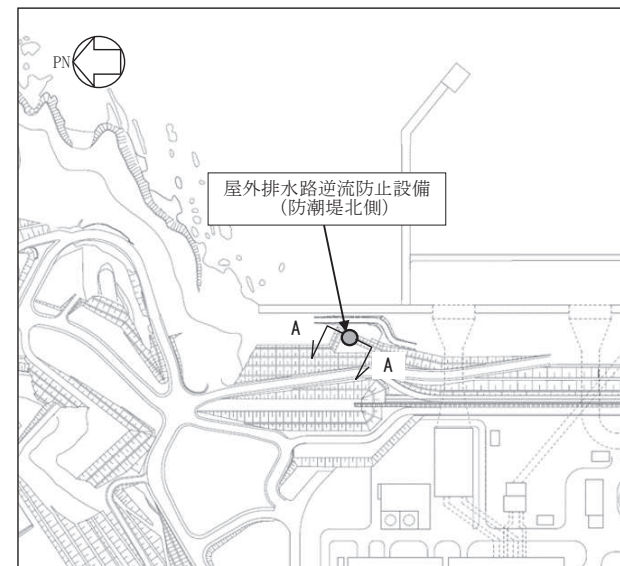
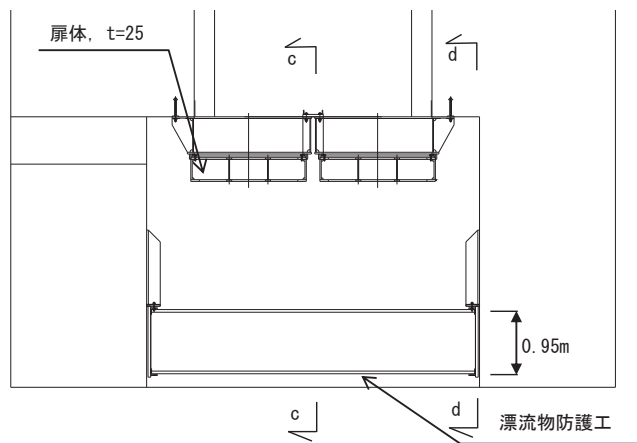
*1: 特記なき寸法はmmを示す。
*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-29 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	屋外排水路逆流防止設備 （防潮堤北側） 構造図（1/2）
東北電力株式会社	

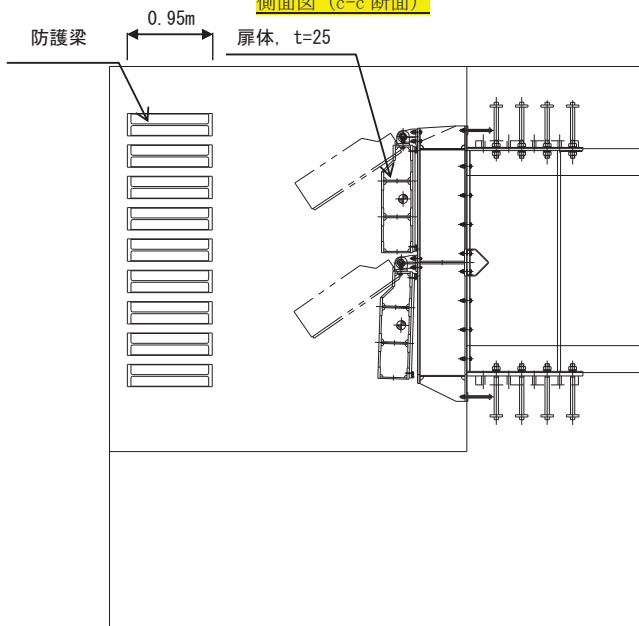
屋外排水路逆流防止設備（防潮堤北側）構造図

KEY-PLAN

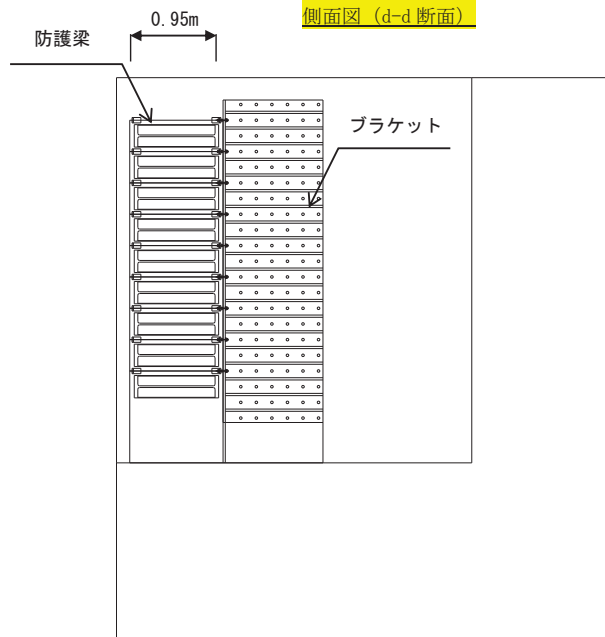
平面図（A-A断面）



側面図（c-c断面）



側面図（d-d断面）



*1: 特記なき寸法はmmを示す。

*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請 第 9-4-1-1-30 図

女川原子力発電所 第2号機

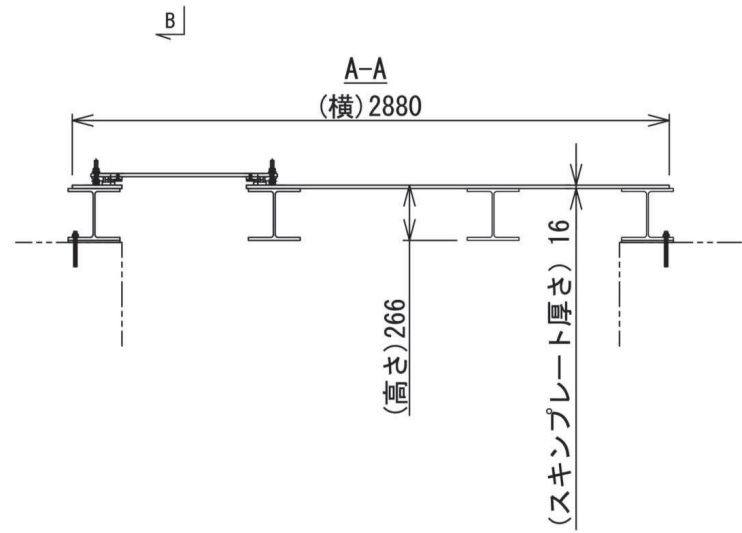
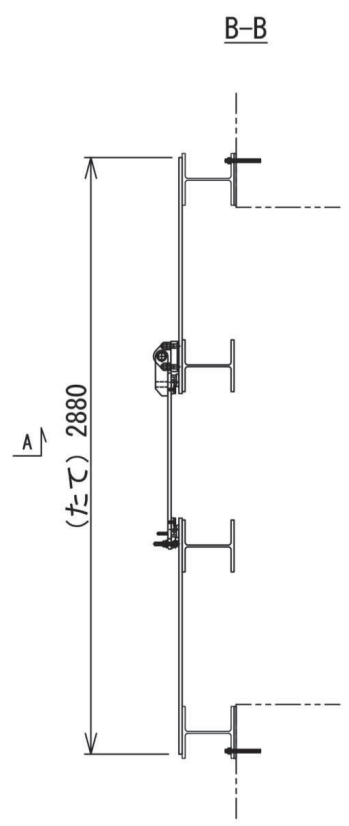
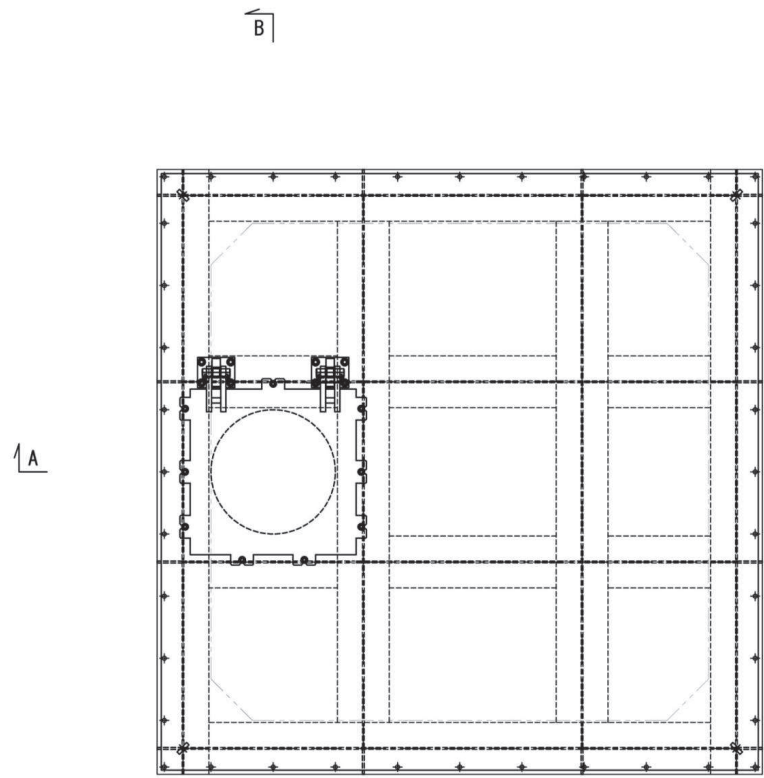
名称 屋外排水路逆流防止設備
（防潮堤北側）
構造図（2/2）

東北電力株式会社

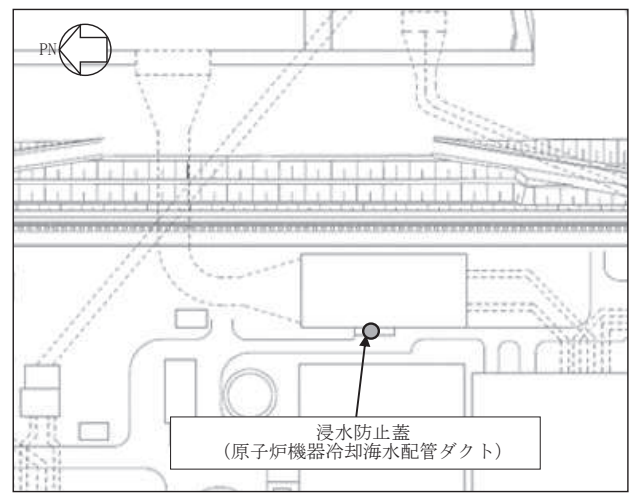
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法			許容範囲	根 拠
扉体①	た て	1.2m	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	横	1.7m	±4mm	
	スキンプレート厚さ	25mm	±1.3mm	『JIS G 4304』，日本規格協会
扉体②	た て	1.2m	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	横	1.7m	±4mm	
	スキンプレート厚さ	25mm	±1.3mm	『JIS G 4304』，日本規格協会
扉体③	た て	1.2m	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	横	1.7m	±4mm	
	スキンプレート厚さ	25mm	±1.3mm	『JIS G 4304』，日本規格協会
扉体④	た て	1.2m	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	横	1.7m	±4mm	
	スキンプレート厚さ	25mm	±1.3mm	『JIS G 4304』，日本規格協会
漂流物防護工	幅	0.95m	±3mm	道路橋示方書 H24 年版

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



KEY-PLAN



浸水防止蓋
(原子炉機器冷却海水配管ダクト)

*1: 特記なき寸法は mm を示す。
*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

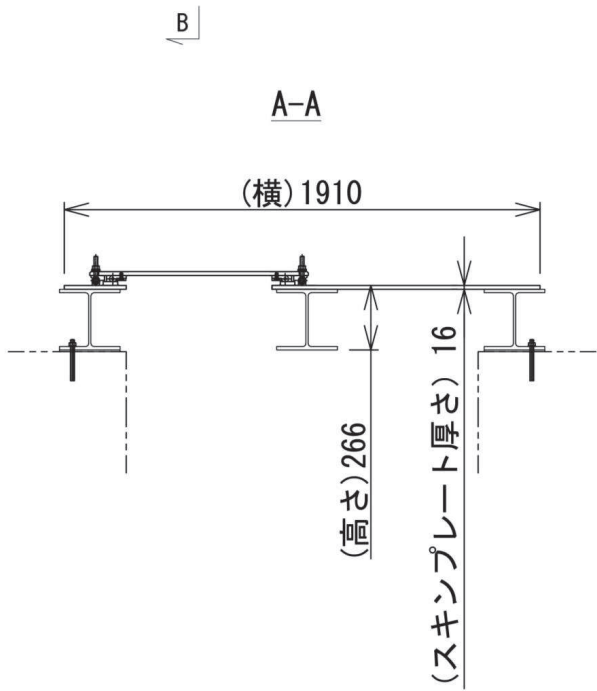
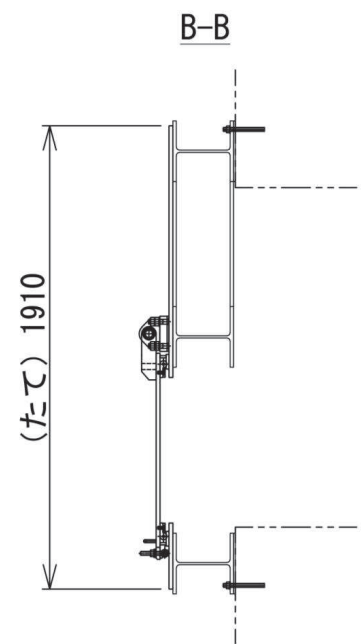
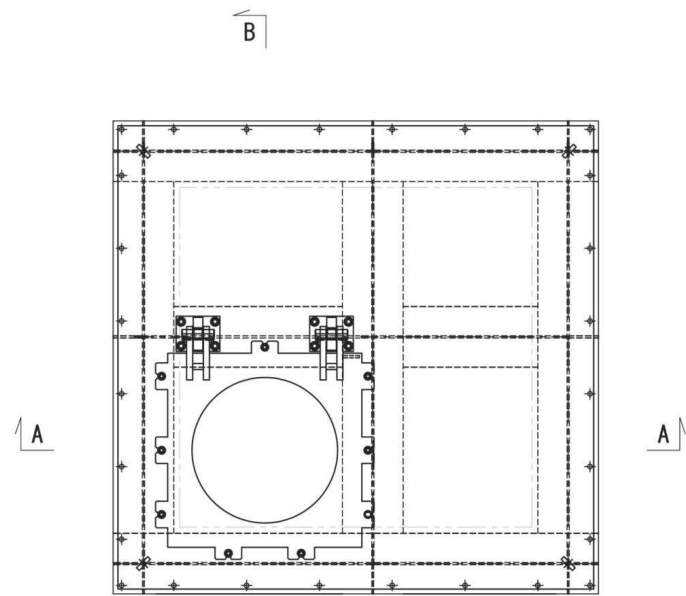
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-34 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	浸水防止蓋 (原子炉機器冷却海水配管ダクト) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-34 図 浸水防止蓋（原子炉機器冷却海水配管ダクト）構造図 別紙

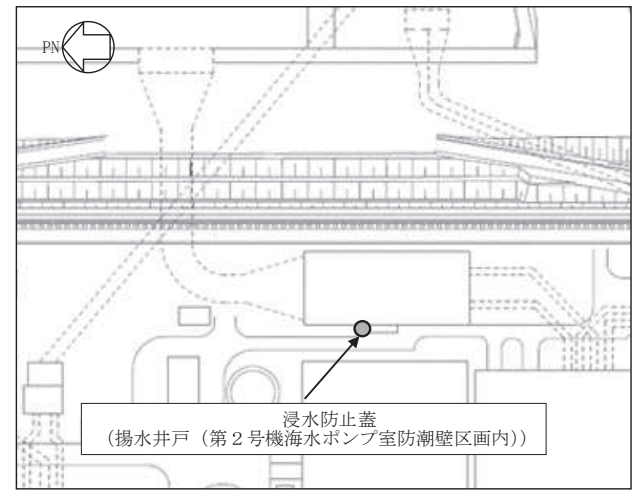
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠	
た	て	2880mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』， 水門鉄管協会	
横		2880mm		
高	さ	266 mm		
スキムプレート	厚	16.0mm	±0.95mm	『JIS G 3193』，日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



KEY-PLAN



*1: 特記なき寸法は mm を示す。
 *2: 特記なき寸法は公称値を示す。

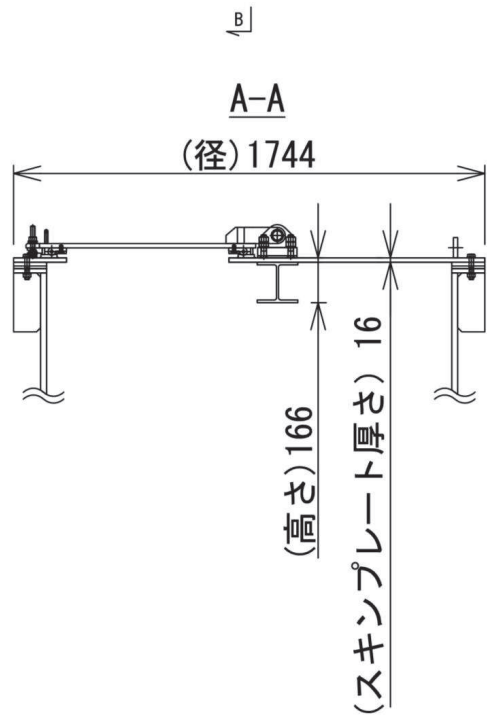
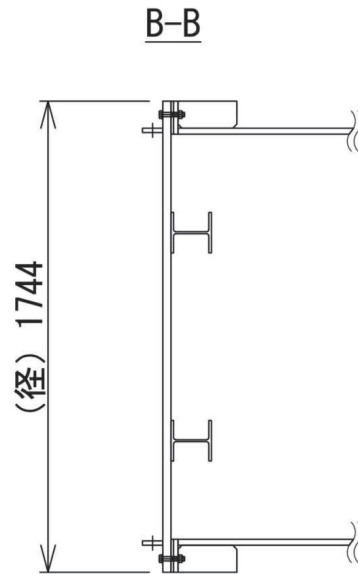
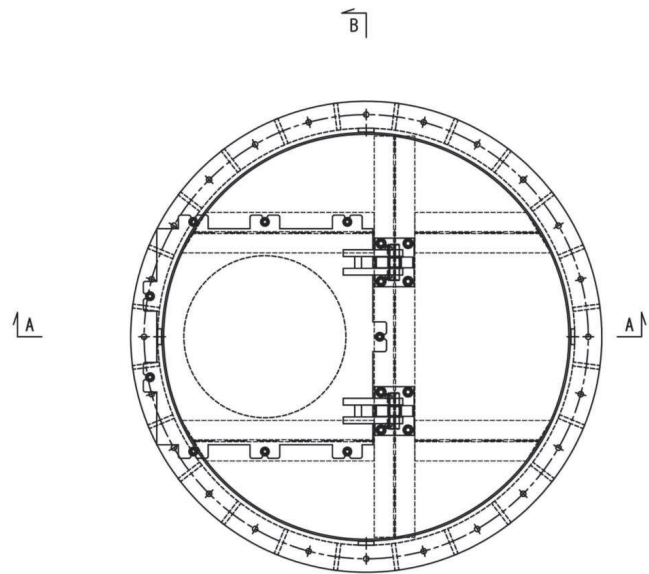
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-35 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	浸水防止蓋 (揚水井戸 (第 2 号機 海水ポンプ室防潮壁区画内)) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-35 図 浸水防止蓋（揚水井戸（第 2 号機海水ポンプ室防潮壁区画内））構造図 別紙

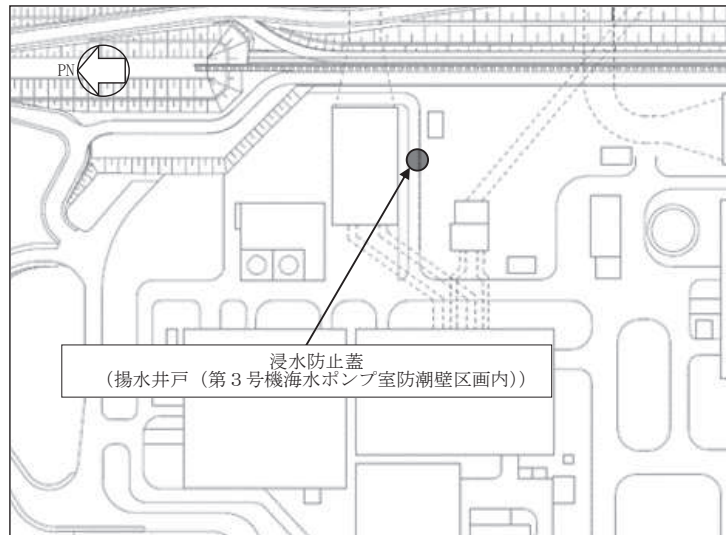
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠	
た	て	1910mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』， 水門鉄管協会	
横		1910mm		
高	さ	266 mm		
スキムプレート	厚	16.0mm	±4mm	『JIS G 3193』，日本規格協会
	さ		±3mm	
			±0.95mm	

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



KEY-PLAN



*1: 特記なき寸法は mm を示す。
 *2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-36 図
名称	女川原子力発電所 第2号機 浸水防止蓋 (揚水井戸 (第3号機 海水ポンプ室防潮壁区画内)) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-36 図 浸水防止蓋（揚水井戸（第 3 号機海水ポンプ室防潮壁区画内））構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
径	1744mm	±10mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』， 水門鉄管協会
高さ	166 mm	±3mm	
スキンプレート 厚 さ	16.0mm	±0.95mm	『JIS G 3193』，日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。